

事務連絡  
令和6年9月6日

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管課  
御中  
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課  
附属学校を置く各公立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
の開催について（依頼）

文部科学省では、学習指導要領の趣旨の実現に資するため、標記協議会を実施要項（別添1）のとおり開催します。標記協議会に係る提出資料等については、下記のとおりとします。

可能な限り多くの方にご参加いただけるよう、参集参加のみならず、オンラインによる参加も可能とするとともに、文部科学省の行政説明については、後日、オンデマンド配信を行う予定です。オンデマンド配信については、本協議会の参加対象者のみならず、市町村教育委員会も視聴することが可能ですので、各都道府県教育委員会におかれましては、域内の市町村教育委員会に対し、この旨を周知し、積極的な視聴について依頼していただくようお願いいたします。

※本協議会は、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事を主な参加者として念頭においておりますので、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事の皆様におかれましては、積極的な参加をご検討いただけますようお願いいたします。その際、令和5年度の参加者アンケートにおいて、参集参加の方が本協議会に対する満足度が約10ポイント程度高かったこと、インターネット通信環境の安定化には万全の対策を講じますが、一定程度不具合が生じうる可能性があること等を踏まえ、可能な限り参集による参加をご検討いただけますと幸いです。

※国立・公立大学法人附属学校の担当者の皆様におかれましては、地域のモデル校として授業研究等の優れた取組を行うことが求められている附属学校の役割を踏まえ、学習指導要領に関する適切な理解の下に先導的な取組を推進いただく観点から、可能な範囲で参加（参集又はオンライン）又はオンデマンド配信視聴についてご検討いただけますと幸いです。

※私立学校協会、私立学校等におかれましては、上記の協議会の位置づけについてご理解の上で、参加の要否についてご検討ください。

記

1 提出資料等

(1) 連絡担当者および参加者登録

（別添1）及び（別添3）を確認の上、各とりまとめ部局の連絡担当者および各部会の参加者登録を行うこと。

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方

質問事項がある場合は、（別添4）を確認の上、【別紙様式1】により教育課程に関する質問事項及び都道府県市等としての考え方を付して提出すること。

※質問事項がない場合には、提出は不要。

(3) 各部会における提出資料

(別添5) 及び (別添6) を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成し、提出すること。

2 登録・提出期限

(1) 連絡担当者および参加者登録【Microsoft Formsにて登録】…9月20日(金)

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式1】…9月20日(金)

(3) 各部会における提出資料【別紙様式2～16、その他提出資料】…10月10日(木)

※提出期限までに提出が困難な場合は、事前に連絡すること。

3 登録・提出方法

1の提出資料等について、(1)「連絡担当者および参加者登録」のうち、連絡担当者登録については、下表左欄の参加者の区分に応じ右欄の者において、連絡担当者となる者1名を登録すること。参加者登録については部会ごとに登録する必要があるが、必ずしも連絡担当者が登録作業を行わなければならないわけではなく、参加者本人が登録を行っても差し支えない。

(2)「教育課程に関する質問事項及び考え方」および(3)「各部会における提出資料」については、それぞれ右欄の者において取りまとめて提出すること。

なお、(3)「各部会における提出資料」については、別途の指定がない限り、協議ごとと一つのpdfファイル(例：小学校国語部会の協議①の提出資料で一つのpdfファイル、同部会の協議②の提出資料で一つのpdfファイル等)にまとめて提出すること。(※詳細は別添3～5を参照のこと)

参加者の区分	とりまとめ
各都道府県・指定都市教育委員会	各都道府県・指定都市教育委員会
国立・公立大学法人附属学校	附属学校を置く各国公立大学法人
都道府県私立学校担当部局、都道府県私立学校協会及び私立学校等	各都道府県私立学校担当部局

4 登録・提出先

(1) 連絡担当者および参加者登録

(別添3) に従い、連絡担当者登録、参加者登録をそれぞれのMicrosoft Formsから行うこと。

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式1】

クラウドストレージサービス「Box」内の指定フォルダに提出し、提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係(kyoiku3@mext.go.jp)宛てに電子メールで報告すること。その際、電子メールの件名は以下とする。

※「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、(別添4)を参照すること。

とりまとめ	電子メールの件名
各都道府県・指定都市教育委員会	都道府県・指定都市番号(半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。)、【〇〇県(公)/〇〇市(公)】、小中協議会 (例) 01【北海道(公)】小中協議会

附属学校を置く各国公立大学法人	法人が所在する都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇大（国）/〇〇大（公）】、小中協議会 （例）13【学芸大（国）】小中協議会
各都道府県私立学校担当部局	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（私）/〇〇市（私）】、小中協議会 （例）14【神奈川県（私）】小中協議会

### (3) 各部会における提出資料【別紙様式2～16、その他提出資料】

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係（kyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールで報告すること。その際、電子メールの件名は以下とする。

※「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、（別添5）を参照すること。

とりまとめ	電子メールの件名
各都道府県・指定都市教育委員会	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（公）/〇〇市（公）】、小中協議会、協議題資料提出 （例）01【北海道（公）】小中協議会 協議題資料提出
附属学校を置く各国公立大学法人	法人が所在する都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇大（国）/〇〇大（公）】、小中協議会、協議題資料提出 （例）13【学芸大（国）】小中協議会 協議題資料提出
各都道府県私立学校担当部局	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（私）/〇〇市（私）】、小中協議会、協議題資料提出 （例）14【神奈川県（私）】小中協議会 協議題資料提出

## 5 資料について

(1) 各部会資料等は、文部科学省より各部会開催の1週間前までに参加者に電子メールにて送付する予定である。部会当日に紙媒体の配布は行わないので、参集する参加者においては留意すること。

(2) (1)の電子メールが各部会開催の1週間前を過ぎても届かない場合には、教育課程課教育課程第三係に問い合わせること。

## 6 事前視聴動画について（ご参考）

本年6月に開催しました「令和6年度小学校及び中学校各教科等担当指導主事連絡協議会」のご参加にあたっては、共通説明事項に関する動画の事前視聴をお願いさせていただいたところです。7月4日（木）までの期間限定の配信としていたところですが、この度、本協議会を開催するにあたり、再度ご視聴いただけるようにいたしましたので、是非ご活用ください。

なお、本協議会への参加にあたり、事前に視聴していただきたい共通説明事項に関する動画については、準備が整い次第改めてご連絡する予定です。

○令和6年度各教科等担当指導主事連絡協議会 共通説明事項に関する動画

- ・「なぜ令和の教育改革なのか。GIGAスクール構想なのか。」

(文部科学省初等中等教育局 教育課程課長 GIGA StuDX推進チーム副ディレクター 武藤久慶)

URL : <https://youtu.be/6o30qiF5ghU>

<都道府県・政令指定都市指導主事の方向け>

- ・「都道府県・政令指定都市指導主事みなさんに期待すること」

(文部科学省初等中等教育局 主任視学官 田村学)

URL : <https://youtu.be/LBpPhUB-bpI>

**【本件担当】**

文部科学省初等中等教育局教育課程課

教育課程第三係 (木村、青山)

電話 : 03-5253-4111 (内線3706)

電子メールアドレス : kyoiku3@mext.go.jp

## 令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 実施要項

### 1 目的

小学校及び中学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題に関する研究協議、情報交換等を行い、もって小学校及び中学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

### 2 主催

文部科学省

### 3 共催

国立教育政策研究所

### 4 部会構成

(小学校) 次の14部会とする。

「総則」「国語」「社会」「算数」「理科」「生活」「音楽」「図画工作」「家庭」「体育」「外国語活動・外国語」「道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」

(中学校) 次の13部会とする。

「総則」「国語」「社会」「数学」「理科」「音楽」「美術」「保健体育」「技術・家庭」「外国語」「道徳」「総合的な学習の時間」「特別活動」

※中学校「技術・家庭」部会については、技術分野と家庭分野で別日とする。

※「総則」部会、「総合的な学習の時間」部会は、小・中合同開催とする。

※「特別活動」部会は、中・高合同開催とする。

### 5 期日

11月11日(月)	「小中・総則」「小・生活」「小・理科」「小・社会」
11月12日(火)	「小・音楽」「小・道徳」「中・理科」「中・社会」
11月13日(水)	「中・道徳」「小・国語」「中・技術」「中・音楽」
11月14日(木)	「小・外国語活動・外国語」「中・国語」
11月15日(金)	「中・外国語」
11月18日(月)	「小中・総合的な学習の時間」「小・図画工作」「小・家庭」
11月19日(火)	「中・美術」「中・家庭」
11月20日(水)	「小・体育」
11月21日(木)	「小・特別活動」「小・算数」「中・保健体育」
11月22日(金)	「中高・特別活動」「中・数学」

### 6 日程(例)

9:30	10:00	12:00	13:00	15:30	16:00
受付	部会①	休憩	部会②	講評	

※日程の詳細については、部会ごとに異なる。

7 開催方法

協議会は、Zoomを使用し、ハイブリッド形式（参加者が会場への参集又はオンラインでの参加を選択する形式）により開催する。

8 会場

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター  
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

小・中学校 総 則	11月11日（月） センター棟101	小 学 校 特 別 活 動	11月21日（木） センター棟102
小 学 校 国 語	11月13日（水） センター棟310	中 学 校 国 語	11月14日（木） センター棟310
小 学 校 社 会	11月11日（月） センター棟311	中 学 校 社 会	11月12日（火） センター棟311
小 学 校 算 数	11月21日（木） センター棟310	中 学 校 数 学	11月22日（金） センター棟310
小 学 校 理 科	11月11日（月） センター棟310	中 学 校 理 科	11月12日（火） センター棟310
小 学 校 生 活	11月11日（月） センター棟102	中 学 校 音 楽	11月13日（水） センター棟416
小 学 校 音 楽	11月12日（火） センター棟101	中 学 校 美 術	11月19日（火） センター棟310
小 学 校 図 画 工 作	11月18日（月） センター棟310	中 学 校 保 健 体 育	11月21日（木） センター棟311
小 学 校 家 庭	11月18日（月） センター棟311	中 学 校 技 術	11月13日（水） センター棟311
小 学 校 体 育	11月20日（水） センター棟311	中 学 校 家 庭	11月19日（火） センター棟311
小 学 校 外 国 語 活 動 ・ 外 国 語	11月14日（木） センター棟101	中 学 校 外 国 語	11月15日（金） センター棟101
小 学 校 道 徳	11月12日（火） センター棟102	中 学 校 道 徳	11月13日（水） センター棟102
小・中学校 総合的な学習の時間	11月18日（月） センター棟101	中・高等学校 特 別 活 動	11月22日（金） センター棟102

※会場の所在地、連絡先、案内図等については、（別添2）を参照のこと。

## 9 参加者等

### (1)対象者

#### ①都道府県・指定都市教育委員会

各都道府県・指定都市において下記の者から選出することとする。

- i) 各都道府県・指定都市教育委員会の各教科等担当指導主事
- ii) 各都道府県・指定都市において指導的立場にある教員のうち、都道府県又は指定都市教育委員会の推薦する者

#### ②国立・公立大学法人附属学校

参加を希望する国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

#### ③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等

参加を希望する都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

### (2)人数

参加者として登録する者（協議に参加し、発言する者）については、上記(1)①～③の区分ごとに原則以下の通りとし、参加者は参加方法（参集又はオンライン）を選択すること。

- ・1部会につき1名とする。
- ・中学校技術・家庭部会については、技術分野と家庭分野で別日とするため、技術分野担当、家庭分野担当各1名とする。
- ・総則部会、総合的な学習の時間部会については小・中学校合同開催、特別活動部会については、中・高等学校合同開催とするため、各部会につき2名が参加することも可能とする。
- ・特段の事情により参加者を上記人数より増やしたい希望がある場合は、参加者登録の際に別途相談すること。
- ・参加者の登録が終了した後、諸事情により、参加者の出席が叶わなくなった場合は、速やかに教育課程課教育課程第三係に報告すること。

## 10 各部会における行政説明のオンデマンド配信視聴について

### (1)対象者

#### ①各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事等

#### ②国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

#### ③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

#### ④市町村教育委員会の指導主事

※各都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会に対して周知すること。

### (2)配信内容の範囲及び配信方法

全ての部会において、文部科学省による行政説明の部分について、後日オンデマンド配信を行う。全部会終了日である11月22日から3週間以内に、文部科学省 youtube サイトに限定公開かつ期間限定（1か月程度）で動画を掲載する予定である。掲載後、youtube リンク等の視聴方法について、各都道府県・指定都市教育委員会等に送付する。市町村教育委員会に対しては、各都道府県教育委員会を通じて上記リンク等を連絡することとする。

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
会場所在地・連絡先・案内図

**○国立オリンピック記念青少年総合センター**

住 所：東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL：03-3469-2525

<最寄り駅から>

- ・小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- ・地下鉄千代田線 代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分

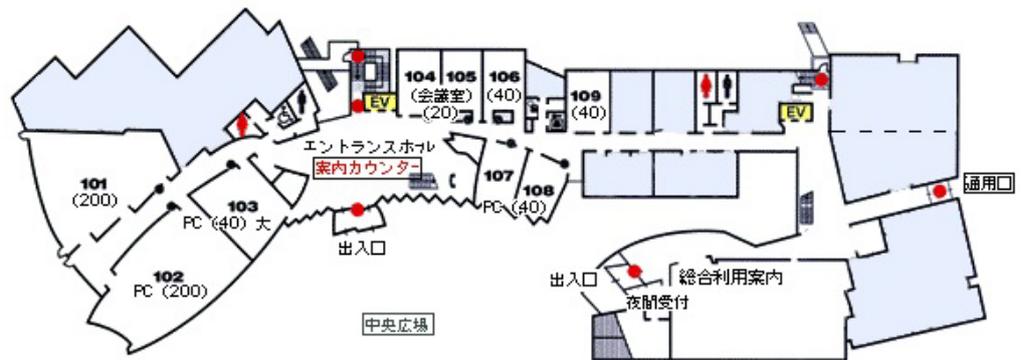
<京王バス>

- ・新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
- ・渋谷駅西口(40番)より 代々木5丁目下車

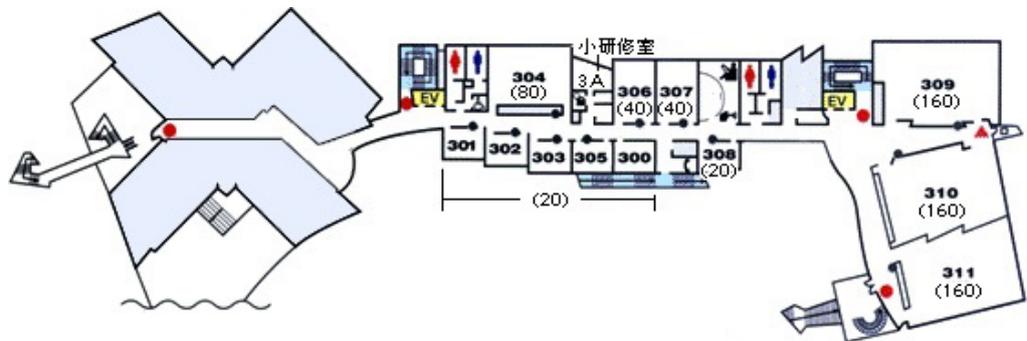


会場平面図

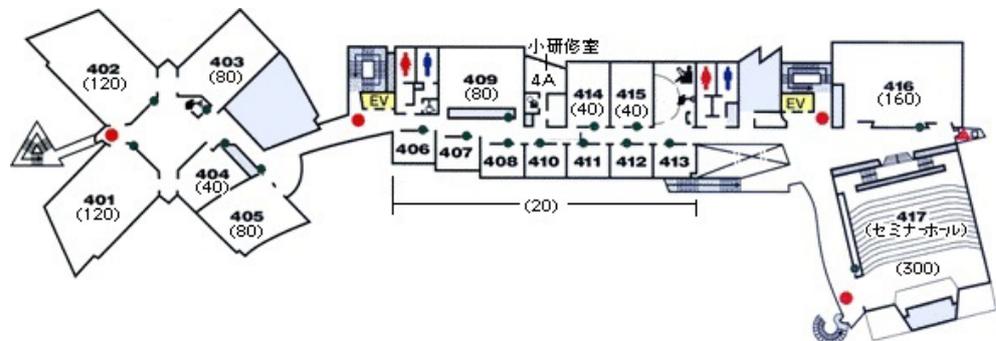
1F



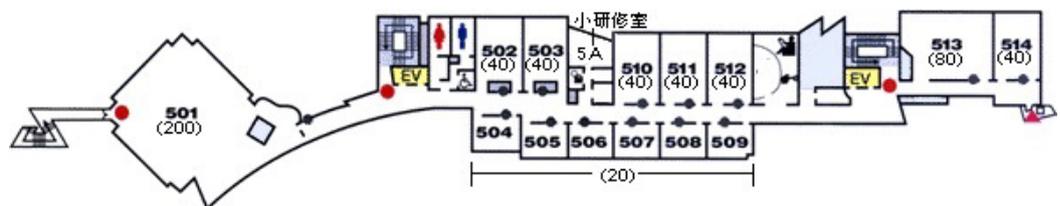
3F



4F



5F



## 連絡担当者および参加者登録について

### 1-1. 連絡担当者登録について

下表のとおり、左欄の参加者の区分ごとに右欄のとりまとめ部局において、参加者の調整や事前提出資料の提出等を行っていただくこととなるため、各とりまとめ部局において1名、事務連絡担当者の連絡先を登録すること。（各種登録内容や提出資料等に不備等があった際に、文科省担当者から連絡することを想定。）

参加者の区分	とりまとめ
各都道府県・指定都市教育委員会	各都道府県・指定都市教育委員会
国立・公立大学法人附属学校	附属学校を置く各国公立大学法人
都道府県私立学校担当部局、都道府県私立学校協会及び私立学校等	各都道府県私立学校担当部局

以下のアンケートフォーム（Microsoft Forms）から登録をすること。

<https://forms.office.com/r/qdeQ2Be7Wy>



### 1-2. 連絡担当者登録 回答項目について

回答項目は以下のとおり。

#### 問1. 都道府県市番号

※私立学校担当部局については、所在する都道府県を選択し、問2にて「私立」を選択すること。

※附属学校を置く各国公立大学法人および私立学校等については、「その他」に記載すること。

(例) ○○国立大学／私立○○中学校

1. 北海道	13. 東京都	25. 滋賀県	37. 香川県	48. 札幌市	60. 大阪市
2. 青森県	14. 神奈川県	26. 京都府	38. 愛媛県	49. 仙台市	61. 堺市
3. 岩手県	15. 新潟県	27. 大阪府	39. 高知県	50. さいたま市	62. 神戸市
4. 宮城県	16. 富山県	28. 兵庫県	40. 福岡県	51. 千葉市	63. 岡山市
5. 秋田県	17. 石川県	29. 奈良県	41. 佐賀県	52. 川崎市	64. 広島市
6. 山形県	18. 福井県	30. 和歌山県	42. 長崎県	53. 横浜市	65. 北九州市
7. 福島県	19. 山梨県	31. 鳥取県	43. 熊本県	54. 相模原市	66. 福岡市
8. 茨城県	20. 長野県	32. 島根県	44. 大分県	55. 新潟市	67. 熊本市
9. 栃木県	21. 岐阜県	33. 岡山県	45. 宮崎県	56. 静岡市	□その他
10. 群馬県	22. 静岡県	34. 広島県	46. 鹿児島県	57. 浜松市	
11. 埼玉県	23. 愛知県	35. 山口県	47. 沖縄県	58. 名古屋市	
12. 千葉県	24. 三重県	36. 徳島県		59. 京都市	

#### 問2. 所属種別（国・公・私）

※都道府県私立学校担当部局の場合、「私立」を選択すること。

国立／公立／私立

問3. 氏名

(例) 文科 花子 ※姓と名の間に全角スペースを入力すること。

問4. ふりがな

(例) もんか はなこ ※ひらがなで入力し、姓と名の間に全角スペースを入力すること。

問5. 所属

(例1) ○○県教育委員会義務教育課

(例2) ○○教育大学附属学校課

問6. 職名

(例) 主任主事／主査／○○係 等

問7. メールアドレス① (連絡担当者個人メールアドレス)

(例) [hanako\\_monka@mext.go.jp](mailto:hanako_monka@mext.go.jp)

問8. メールアドレス② (所属先の代表メールアドレス)

(例) [kyoiku3@mext.go.jp](mailto:kyoiku3@mext.go.jp)

※各都道府県・指定都市教育委員会等に一括して送付する資料については、代表アドレスに送付します。

問9. 電話番号 (直通)

(例) 03-6734-3706 ※半角入力、ハイフンも入力すること。

問10. 備考欄 (何かあればご記入ください。)

### 2-1. 参加者登録について

各部会への参加者が決まり次第、以下のアンケートフォーム (Microsoft Forms) にて参加登録をすること。(※部会ごとに回答すること。参加者がいない場合には回答不要。)

<https://forms.office.com/r/HcB7pJ8B84>



### 2-2. 参加者登録 回答項目について

回答項目は以下のとおり。

問1. 参加部会を選択してください。(複数の部会に参加する場合にも、1部会ずつ登録が必要です。)

<input type="checkbox"/> 小中・総則	<input type="checkbox"/> 小・生活	<input type="checkbox"/> 小・外国語活動・外国語	<input type="checkbox"/> 中・社会	<input type="checkbox"/> 中・保健体育	<input type="checkbox"/> 中高・特別活動
<input type="checkbox"/> 小・国語	<input type="checkbox"/> 小・音楽	<input type="checkbox"/> 小・道徳	<input type="checkbox"/> 中・数学	<input type="checkbox"/> 中・技術	
<input type="checkbox"/> 小・社会	<input type="checkbox"/> 小・図画工作	<input type="checkbox"/> 小中・総合的な学習の時間	<input type="checkbox"/> 中・理科	<input type="checkbox"/> 中・家庭	
<input type="checkbox"/> 小・算数	<input type="checkbox"/> 小・家庭	<input type="checkbox"/> 小・特別活動	<input type="checkbox"/> 中・音楽	<input type="checkbox"/> 中・外国語	
<input type="checkbox"/> 小・理科	<input type="checkbox"/> 小・体育	<input type="checkbox"/> 中・国語	<input type="checkbox"/> 中・美術	<input type="checkbox"/> 中・道徳	

問2. 参加方法

参集 / オンライン

問3. 都道府縣市番号

※私立学校担当部局については、所在する都道府県を選択し、問4にて「私立」を選択すること。

※附属学校等については、「その他」に学校コードの先頭5桁（アルファベットを含む）を入力すること。（大文字、半角入力）

(例) C1131、F1241 (※大文字、半角入力)

【参照】文部科学省 学校コードに基づく学校コード検索 ([edu-data.jp](http://edu-data.jp))

1. 北海道	13. 東京都	25. 滋賀県	37. 香川県	48. 札幌市	60. 大阪市
2. 青森県	14. 神奈川県	26. 京都府	38. 愛媛県	49. 仙台市	61. 堺市
3. 岩手県	15. 新潟県	27. 大阪府	39. 高知県	50. さいたま市	62. 神戸市
4. 宮城県	16. 富山県	28. 兵庫県	40. 福岡県	51. 千葉市	63. 岡山市
5. 秋田県	17. 石川県	29. 奈良県	41. 佐賀県	52. 川崎市	64. 広島市
6. 山形県	18. 福井県	30. 和歌山県	42. 長崎県	53. 横浜市	65. 北九州市
7. 福島県	19. 山梨県	31. 鳥取県	43. 熊本県	54. 相模原市	66. 福岡市
8. 茨城県	20. 長野県	32. 島根県	44. 大分県	55. 新潟市	67. 熊本市
9. 栃木県	21. 岐阜県	33. 岡山県	45. 宮崎県	56. 静岡市	<input type="checkbox"/> その他
10. 群馬県	22. 静岡県	34. 広島県	46. 鹿児島県	57. 浜松市	
11. 埼玉県	23. 愛知県	35. 山口県	47. 沖縄県	58. 名古屋市	
12. 千葉県	24. 三重県	36. 徳島県		59. 京都市	

問4. 所属種別 (国・公・私)

※都道府県私立学校担当部局の場合、「私立」を選択すること。

国立 / 公立 / 私立

問5. 所属先

※附属学校等や都道府県私立学校担当部局の場合には、「附属学校等、私立学校担当部局」を選択すること。

- 教育委員会事務局、教育庁（本庁）等
- 教育事務所等（都道府県・市町村域内の一部区域を担当）
- 教育センター等（都道府県・市町村域内の教職員の研修等を担当）
- 教育委員会内のその他の部局
- 附属学校等、私立学校担当部局

問6. 氏名

(例) 文科 花子 ※姓と名の上に全角スペースを入力すること。

問7. ふりがな

(例) もんか はなこ ※ひらがなで入力し、姓と名の上に全角スペースを入力すること。

問8. 所属・職名

※所属と職名の上に全角スペースを入力すること。

(例1) ○○県教育委員会義務教育課 指導主事

(例2) ○○大学附属中学校 校長

問 9. メールアドレス

※参加部会に関する連絡を行うため、参加者本人のメールアドレスを入力すること。

(例) [monka\\_hanako@mext.go.jp](mailto:monka_hanako@mext.go.jp)

問 10. 指導主事経験年数

※指導主事として従事した**通算年数**を選択すること。

(今回参加する部会以外の教科等の担当としての経験年数も含む。)

※行政職、附属学校等の方は、「その他」を選択すること。

<input type="checkbox"/> 1年目	<input type="checkbox"/> 4年目	<input type="checkbox"/> 7年目	<input type="checkbox"/> 10年目	<input type="checkbox"/> 13年目以上
<input type="checkbox"/> 2年目	<input type="checkbox"/> 5年目	<input type="checkbox"/> 8年目	<input type="checkbox"/> 11年目	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 3年目	<input type="checkbox"/> 6年目	<input type="checkbox"/> 9年目	<input type="checkbox"/> 12年目	

問 11. 今回参加する予定の教科等（問 1 で選択した部会の教科等）における担当指導主事として従事した経験年数

※指導主事として従事した**通算年数**を選択すること。

※他教科等の指導主事の経験はあるが今回参加する予定の教科等における指導主事としての経験が初年度の方は「1年目」を、代理の場合等で今回参加する予定の教科等を担当していない方や行政職、附属学校等の方は「その他」を選択すること。

<input type="checkbox"/> 1年目	<input type="checkbox"/> 4年目	<input type="checkbox"/> 7年目	<input type="checkbox"/> 10年目	<input type="checkbox"/> 13年目以上
<input type="checkbox"/> 2年目	<input type="checkbox"/> 5年目	<input type="checkbox"/> 8年目	<input type="checkbox"/> 11年目	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 3年目	<input type="checkbox"/> 6年目	<input type="checkbox"/> 9年目	<input type="checkbox"/> 12年目	

問 12. 日常の業務上の担当教科 ※複数回答可。

(例) 小中・総合、小・算数、中・数学

※学校種の記載については、例に倣い、小、中と略して入力すること。(×小学校、中学校)

問 13. 今回参加する予定の教科等（問 1 で選択した部会）について、今年度 6 月に実施した「各教科等担当指導主事連絡協議会」の同部会への参加の有無

※組織としてではなく、参加者本人の参加の有無について回答すること。

(例えば、「各教科等担当指導主事連絡協議会」には同組織内の異なる方が参加した場合には、「参加していない」を選択すること。)

参加した / 参加していない

問 14. 備考欄（何かあればご記入ください。）

## 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式1】 の作成及び提出方法について

### 1 趣旨

教育課程に関する質問のうち、部会全体で考え方を確認・共有すべき事項がある場合、当日、可能な範囲で精選して回答するものである。

### 2 作成について

- 【別紙様式1】により、各部会の質問事項をまとめて1つのシートで作成すること。
- 所定の欄に、都道府県・指定都市番号または学校コードの先頭5桁、都道府縣市名・学校名等（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）を記入し、部会名をドロップダウンリストから選択すること。  
※国公立大学法人附属学校については、13桁の学校コードの先頭5桁を記入すること。  
(参考) <学校コード検索サイト>  
[文部科学省 学校コードに基づく学校コード検索 \(edu-data.jp\)](http://www.edu-data.jp)
- 「質問事項」欄には、教育課程に関して部会全体で考え方を確認・共有すべき文部科学省に対する質問がある場合は部会ごとに3問を限度として簡潔に質問内容を記述すること。なお、質問事項がない場合、提出の必要はない。
- 「考え方」欄には、質問事項について問合せがあった際、どのような回答を行っているかなど、都道府縣市等としての考え方を記述すること。

### 3 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の指定フォルダに提出し、提出が完了次第、教育課程課教育課程第三係 (kyoiku3@mext.go.jp) 宛てに電子メールでその旨を報告すること。

- 「Box」提出フォルダ  
<https://mext.ent.box.com/f/0b3631f6cbea4da691ceb3d6cd8247bd>
- ファイル名については、以下のとおりとする。
  - ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合  

都道府県・指定都市番号【都道府縣市名（公）】小中協議会質問事項
---------------------------------

  
<記入例>01【北海道（公）】小中協議会質問事項
  - ・ 国立・公立大学法人附属学校の場合  

学校コードの先頭5桁【学校名（国・公）】小中協議会質問事項
-------------------------------

  
<記入例>C1131【東京学芸大学附属竹早中（国）】小中協議会質問事項
  - ・ 都道府県私立学校担当部局等の場合  

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会質問事項
--------------------------------

  
<記入例>20【長野県（私）】小中協議会質問事項

## 各部会における提出資料の作成及び提出方法について

### 1 作成について

- (別添6)を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成すること。
- 所定の欄に、部会名、都道府県・指定都市名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）、都道府県・指定都市番号または学校コードの先頭5桁（下記参照）、担当指導主事名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は参加者名）を記入すること。  
 ※国立大学法人附属学校については、13桁の学校コードの先頭5桁を記入すること。  
 （参考）<学校コード検索サイト>  
[文部科学省 学校コードに基づく学校コード検索 \(edu-data.jp\)](http://edu-data.jp)
- 新聞や教科書のコピー等、著作権者の利用の許諾が必要となる著作物については掲載を控えること。

### 2 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係 (kyoiku3@mext.go.jp)宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。各部会フォルダのリンクは次頁の表を参照すること。

※ファイルは別途の指定がない限り、協議題ごとに一つのpdfファイル（例：小学校国語部会の協議①で一つのpdfファイル、小学校国語部会の協議②で一つのpdfファイル等）にまとめて提出すること。

- ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

**都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】小中協議会提出資料（部会名）**

- <例>01【北海道（公）】小中協議会提出資料①（小・国語）  
 01【北海道（公）】小中協議会提出資料②（小・国語）

- ・ 国立・公立大学法人附属学校等の場合

**学校コードの先頭5桁【学校名（国・公）】小中協議会提出資料（部会名）**

- <例>C1131【東京学芸大学附属竹早中（国）】小中協議会提出資料①（小・国語）  
 C1131【東京学芸大学附属竹早中（国）】小中協議会提出資料②（小・国語）

- ・ 都道府県私立学校担当部局等の場合

**都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】小中協議会提出資料（部会名）**

- <例>20【長野県（私）】小中協議会提出資料①（小・国語）  
 20【長野県（私）】小中協議会提出資料②（小・国語）

※「その他提出資料」の場合は「その他提出資料」とし、協議の提出資料に併せて提出するよう依頼された補足資料等の場合は「（部会名）」の後にその旨追記すること。

- <例>01【北海道（公）】小中協議会その他提出資料  
 01【北海道（公）】小中協議会提出資料①（小・国語）補足資料

部会名	フォルダリンク
小中・総則	<a href="https://mext.ent.box.com/f/2cf4e8e8cc64440abdd1acfafd306110">https://mext.ent.box.com/f/2cf4e8e8cc64440abdd1acfafd306110</a>
小・国語	<a href="https://mext.ent.box.com/f/4bcc0c446ba24aea8125abe4d30fbfef">https://mext.ent.box.com/f/4bcc0c446ba24aea8125abe4d30fbfef</a>
小・社会	<a href="https://mext.ent.box.com/f/b413633dbd034ef8aa84caee270da3f6">https://mext.ent.box.com/f/b413633dbd034ef8aa84caee270da3f6</a>
小・算数	<a href="https://mext.ent.box.com/f/082a485ed11e4834a95cf55c8becc0d0">https://mext.ent.box.com/f/082a485ed11e4834a95cf55c8becc0d0</a>
小・理科	<a href="https://mext.ent.box.com/f/816a8ff0e06e420db4de27f4314e4e55">https://mext.ent.box.com/f/816a8ff0e06e420db4de27f4314e4e55</a>
小・生活	<a href="https://mext.ent.box.com/f/d4386e14e2fb401e80e5b138ec711011">https://mext.ent.box.com/f/d4386e14e2fb401e80e5b138ec711011</a>
小・音楽	<a href="https://mext.ent.box.com/f/0d49341f6dc94959af4764031393d4cb">https://mext.ent.box.com/f/0d49341f6dc94959af4764031393d4cb</a>
小・図画工作	<a href="https://mext.ent.box.com/f/09f6baf0cf9441a2a0e1a54c90ab22ee">https://mext.ent.box.com/f/09f6baf0cf9441a2a0e1a54c90ab22ee</a>
小・家庭	<a href="https://mext.ent.box.com/f/85495100b2a84dd59b3f56117d1a9abe">https://mext.ent.box.com/f/85495100b2a84dd59b3f56117d1a9abe</a>
小・体育	<a href="https://mext.ent.box.com/f/db075d0641c948b591c1ca28febe4eb4">https://mext.ent.box.com/f/db075d0641c948b591c1ca28febe4eb4</a>
小・外国語活動・外国語	<a href="https://mext.ent.box.com/f/0c3c0dbf62214c30a58241bfb002a458">https://mext.ent.box.com/f/0c3c0dbf62214c30a58241bfb002a458</a>
小・道徳	<a href="https://mext.ent.box.com/f/eb25d7d90ada408f8161267c7ab85a5d">https://mext.ent.box.com/f/eb25d7d90ada408f8161267c7ab85a5d</a>
小中・総合的な学習の時間	<a href="https://mext.ent.box.com/f/d113940488eb444f924c3a98fb23d067">https://mext.ent.box.com/f/d113940488eb444f924c3a98fb23d067</a>
小・特別活動	<a href="https://mext.ent.box.com/f/e6e0938dccd341898c4f53cce49cc0c4">https://mext.ent.box.com/f/e6e0938dccd341898c4f53cce49cc0c4</a>
中・国語	<a href="https://mext.ent.box.com/f/e3b9dc60d45845c2b62fc2a08d5d840b">https://mext.ent.box.com/f/e3b9dc60d45845c2b62fc2a08d5d840b</a>
中・社会	<a href="https://mext.ent.box.com/f/d0a52af69bd24449ba038810b3750119">https://mext.ent.box.com/f/d0a52af69bd24449ba038810b3750119</a>
中・数学	<a href="https://mext.ent.box.com/f/77b855b81a6e4c27a80e0b4d7c6dc76d">https://mext.ent.box.com/f/77b855b81a6e4c27a80e0b4d7c6dc76d</a>
中・理科	<a href="https://mext.ent.box.com/f/bd7ab5a829cf42b3a63e14624d30b5fe">https://mext.ent.box.com/f/bd7ab5a829cf42b3a63e14624d30b5fe</a>
中・音楽	<a href="https://mext.ent.box.com/f/311d67dd516940f49d2bcadb6b62fb80">https://mext.ent.box.com/f/311d67dd516940f49d2bcadb6b62fb80</a>
中・美術	<a href="https://mext.ent.box.com/f/84d8e267a36c4beeacbb7cc81feebeb6">https://mext.ent.box.com/f/84d8e267a36c4beeacbb7cc81feebeb6</a>
中・保健体育	<a href="https://mext.ent.box.com/f/fcac5021feba42b5b9057a39854232d5">https://mext.ent.box.com/f/fcac5021feba42b5b9057a39854232d5</a>
中・技術	<a href="https://mext.ent.box.com/f/4f49fc65e90e4a5b9b152e1ac9fcffcb">https://mext.ent.box.com/f/4f49fc65e90e4a5b9b152e1ac9fcffcb</a>
中・家庭	<a href="https://mext.ent.box.com/f/e1f499511eed46f2848a5b38948a795e">https://mext.ent.box.com/f/e1f499511eed46f2848a5b38948a795e</a>
中・外国語	<a href="https://mext.ent.box.com/f/ae843667a48f4489acd562966dd73d00">https://mext.ent.box.com/f/ae843667a48f4489acd562966dd73d00</a>
中・道徳	<a href="https://mext.ent.box.com/f/976be61a88ae4a77bb2852b2a840a477">https://mext.ent.box.com/f/976be61a88ae4a77bb2852b2a840a477</a>
中高・特別活動	<a href="https://mext.ent.box.com/f/d2c131d2714d421d93513a297213afbe">https://mext.ent.box.com/f/d2c131d2714d421d93513a297213afbe</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小中学校 総則部会

協議①		
協議題	多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図ることを目指す教育委員会・学校の取組の推進方策について (副題:「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の推進に向けて)	
趣旨	<p>多様な特性等を有する全ての子供達を誰一人取り残さずに学習指導要領が掲げる資質・能力の育成を目指すため、令和答申において「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」が示されている。</p> <p>そこで、各教育委員会の管内(附属学校等においては自校)において実施されている優れた実践について分析し、分析を基に多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図ることを目指す授業を実現するための要点を明らかにする(右図①②:事前提出資料作成)。また、それらの要点を整理した上で、教育委員会として各学校の授業改善を支援していく(附属学校等は学校全体としての授業改善を実現していく)ためのよりよい方策について検討・協議する(右図③:当日グループ協議)。</p>	
提出資料	「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」により、多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図ることを目指す優れた実践事例の「概要」「分析」をまとめるとともに、多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図ることを目指す授業を実現するための「要点」について、別紙様式3によりまとめる。	
作成様式	別紙様式3(1,2枚目のみ事前作成・提出。3枚目は当日のグループ協議で使用するため、事前作成は不要。)	
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>○各教育委員会の管内(附属学校等においては自校)において実施されている「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」により、多様な子供達を誰一人取り残さずに資質・能力の育成を図ることを目指す優れた実践について、「授業実践の概要」と「分析」をまとめ(資料1枚目)、実践の分析を基にして「授業を実現するための要点」を考察してまとめてください(資料2枚目)。その際、資料1枚目の「分析」については、資料2枚目に示した分析の視点を基に行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右上の【】内については、関係する都道府県市(学校)に応じて修正してください。</li> <li>・青字で記載した注意事項(※印で記載)を参考に記述してください。注意事項は削除して作成・提出してください。</li> <li>・資料1枚目について、記述すべき内容が含まれた既存の資料がある場合は、そちらに替えていただくか、添付するなどしていただいて構いません。</li> <li>・枠の大きさ、フォント等は適宜変更して作成してください。</li> </ul> <p>【当日の協議の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出資料を基に、「授業実践の概要」と「分析」、「授業を実現するための要点」をグループで発表・共有する。</li> <li>・グループで協議した「要点」を整理した上で、各学校の授業改善を支援するための方策について検討・協議する(様式3の3枚目をグループで作成 ※事前作成は不要)。</li> </ul>	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
提出資料	各都道府県・指定都市教育委員会等(地域事務所、教育センター等を含む)における、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」による授業改善を推進していくためのパンフレットや指導資料等を作成している場合は、関連資料として提出してください。	
作成様式	任意様式	
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存資料をそのまま提出してください。教育委員会のホームページ等に掲載されている場合には、URLをご教示ください。</li> <li>・提出資料の1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名・都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入してください。</li> </ul>	
その他部会当日に手元 用意しておく資料	資料名	①小学校学習指導要領(平成29年告示) ②中学校学習指導要領(平成29年告示) ③小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編 ④中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	① <a href="https://www.mext.go.jp/content/1413522_001.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1413522_001.pdf</a>
		② <a href="https://www.mext.go.jp/content/1413522_002.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1413522_002.pdf</a> ③ <a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_001.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_001.pdf</a> ④ <a href="https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_003.pdf">https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_003.pdf</a>



令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 国語部会

協議①		
協議題	小学校国語科における学習指導要領の趣旨の更なる実現に向けて ー未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の育成についてー	
趣旨	年間の指導を視野に入れた、「考えの形成」の育成に向けて、学習指導要領の趣旨の実現に向けた更なる取組の充実を目指す。	
提出資料	貴管内(附属校等の場合は貴校)において実践された、「話すこと・聞くこと」又は「書くこと」領域における「考えの形成」を単元の目標に掲げている学習指導案	
作成様式	別紙様式2 ※共通様式	
提出資料作成に当たったの留意事項	<p>持ち寄る学習指導案については、次の①②の条件に沿うものであること</p> <p>①単元全体の指導と評価の計画と、「考えの形成」の評価の具体が想定され明示されているもの(項目等がなく明示されていない場合には、参加者がその状況を加筆し整えてもよい)</p> <p>②参加者が実践の実際を説明できるもの</p> <p>※「話すこと・聞くこと」か「書くこと」のどちらかの領域を選択して提出すること。          ※一人一台端末を活用した事例については、活用の仕方等がわかるよう明記すること。          ※実践事例が収集できない場合には、自治体で作成した学習指導案や指導主事が考えた理想の学習指導案でも構わない。          (ただし、その旨を冒頭に明記すること)</p> <p>【協議の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループを作り、持ち寄った事例の共有後、学習指導要領の趣旨の実現を図るために、どのような指導助言を行うべきか協議する。</li> <li>・協議の内容を受けて、持ち寄った学習指導案を理想の実践となるよう修正を行う。</li> <li>・協議の内容を書き込み、改善された学習指導案を使い発表、共有する。</li> <li>・改善された学習指導案は成果として持ち帰り、後日全体でも共有する。</li> </ul> <p>※参加者には再度追ってご連絡しますが、当日参集いただく方については、パソコン(文字入力や閲覧に差し支えがなければタブレット端末等でも可。)を各自ご持参ください。ネットワーク環境が準備できる方(ポケットWi-Fiやデザリング)についても、ご負担のない範囲で準備をお願いいたします。          また、会場の使用電力量や電源タップの数に限りがあるため、参加者が一斉にコンセントに繋いだままでの使用は出来ません。予め十分に充電した状態にいただき、必要に応じてモバイルバッテリー等をご持参いただく等のご対応をお願いいたします。</p>	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 国語】
	① 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf</a>
	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編
	② 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20220606-mxt_kyoiku02-100002607_002.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20220606-mxt_kyoiku02-100002607_002.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 社会部会

協議①	
協議題	小学校社会科の授業におけるICTの効果的な活用
趣旨	小学校社会科の授業において、目標の実現に向けたICT端末の効果的な活用について実践を基に議論する。課題を確認、共有し充実・改善の方法を協議する。
提出資料	都道府県、政令市で実践されているものうち、「単元の目標の実現に向かって効果的に活用されている事例」を指定の様式(A4判2ページ)に整理して提出すること(附属学校等については、貴校における実践)。その際、単元や本時の目標の実現のための「効果的な活用が明確になっていること」「ICT端末を活用する場面が絞られていること」「具体的な活用がイメージされていること」に留意して、提出する実践事例を選択すること。
作成様式	別紙様式4
提出資料作成に当たった際の留意事項	作成資料の右上に、【都道府県・指定都市番号】【都道府県・指定都市名(学校名)】を記載してください。 ※作成に当たった際の参考資料 ・「GIGAスクール構想のもとでの小学校社会科の指導について」 <a href="https://www.mext.go.jp/content/20210610-mxt_kyoiku01-000015438_ts.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210610-mxt_kyoiku01-000015438_ts.pdf</a> ・初等教育資料2021、12月号特集Ⅰ「一人一台端末の効果的な活用」・初等教育資料2022.12「GIGAスクール構想のもとでの各教科等の指導」

協議②	
協議題	社会に見られる課題を踏まえ学習したことを基に、自分たちができることなどを考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする活動の充実
趣旨	社会に見られる課題を踏まえ学習したことを基に、自分たちができることなどを考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする学習活動にどのように取り組むのか、提出資料を基に協議を行い、課題や改善策について共有する。
提出資料	質問事項についてアンケートフォームより回答する。社会への関わり方を選択・判断する活動について、指定の様式(A4判1ページ)に記入して提出する。
作成様式	・アンケートフォームより回答。 ・別紙様式5に記入して回答。
提出資料作成に当たった際の留意事項	○アンケート ・下記URLからアンケート回答フォームにアクセスし、回答すること。 URL: <a href="https://forms.office.com/r/j3PDjYfFmY">https://forms.office.com/r/j3PDjYfFmY</a> QRコード:  ○別紙様式5 提出資料 ・「社会に見られる課題を踏まえ学習したことを基に、自分たちができることなどを考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする活動」に関しては、各学年の内容の取扱いに示されている内容のものを選んで1事例提出すること。 ・様式に沿って記入し、A4判1ページにおさめること。 【作成に当たって配慮事項】 事例は、自分の実践や自分で考えたものでもよいし、学校訪問等で見た授業や実際の指導案等を基に作成してもよい。 ①学年・単元を決める ②社会への関わり方を選択・判断する場面(本時)のみ記入する ・単元の学習を通して生まれた課題や新たな問い ・本時のねらい ・本時の展開(主な学習活動と予想される子供の発言) ・本時の問い ・本時のまとめとして予想される子供の文章

その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_kyoiku02-100002607_003.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_kyoiku02-100002607_003.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 社会】
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_shakai.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_shakai.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 算数部会

協議①			
協議題	小学校算数科における令和6年度までの全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた指導改善—割合に関して—		
趣旨	小学校算数科における令和6年度までの全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、課題が継続している学習内容(割合)について協議する。		
提出資料	○令和6年度までの全国学力・学習状況調査における課題の分析とその課題に対する改善策・対応について 1. 割合についての課題の改善について 2. 割合の課題を改善するために、それまでに学習している内容の課題の改善について		
作成様式	別紙様式6 [小学校算数 全国学調割合]		
提出資料作成に当たっての留意事項	【資料作成に当たっての留意事項】 ・A4判2ページ以内で作成すること。 【協議の進め方】 ・全国学力・学習状況調査において、課題が継続している学習内容について、貴管内における課題の分析とその課題に対する改善策・対応について共有し、その共通点や差異点などについて協議する。		
協議②			
協議題	小学校算数科におけるデータの活用の授業の具体例		
趣旨	小学校算数科の「データの活用」の授業の具体例を共有することを通して、データの活用領域の算数の授業における課題とその改善について協議する。		
提出資料	別紙様式7 [小学校算数 データの活用]		
作成様式	・提出資料の作成に当たっては、以下の項目について記載すること。 ○本事例のポイント 1. 授業の学年・単元名(内容のまとまり) 2. 単元の目標(学習指導要領の対応) 3. 本単元の簡単な指導計画(本時の位置が分かる程度のもの) 4. 本時の目標(できれば思考力、判断力、表現力等の育成をねらいとしたもの) 5. 本時の展開(この中に、本時において想定される子供のつまずきと、その子供に対する指導の工夫を示すこと) 6. 本時の評価(ある児童の具体的な記述を基にした評価例)		
提出資料作成に当たっての留意事項	【資料作成に当たり留意事項】 ・A4判2ページ以内で作成すること。 ・1人1台端末を活用した事例であること。 ・授業の中で、どこで1人1台端末を用いたのかを明確にしておくこと。 【協議の進め方】 ・データの活用領域の算数の授業についての課題とその改善について協議する。		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料	各地域内において、 1. 算数を単独の研究教科としている学校の数 2. 学校の名称及び研究内容(3校程度) について簡潔にまとめた資料		
作成様式	別紙様式8 [算数 研究学校]		
提出資料作成に当たっての留意事項	・指導主事の皆様方から「他県における優れた実践が知りたい」というご要望が多いため、集めることとする。 ・昨年の要望の例としては、「算数の優れた研究をしている学校に視察に行きたいので知りたい」「評価について研究している学校に伺いたい」「算数科において、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実している学校に視察に行きたい」「算数科において、自由進度学習を進めている学校に視察に行きたい」などがあつた。 ・A4判1ページ程度で作成すること。		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_004.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_004.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校算数】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_sansu.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_sansu.pdf</a>
	③	資料名	令和6年度 全国学力・学習状況調査 報告書 小学校算数
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24pmath.pdf">https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24pmath.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 理科部会

協議①			
協議題	小学校理科で求められる資質・能力の育成に向かう単元の「指導と評価の計画」について		
趣旨	育成する資質・能力を鑑み、重点と記録の配置を検討しながら、小学校理科で求められる資質・能力の育成に向かう単元の指導と評価の計画の在り方について協議する。		
提出資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料「小学校理科」を参考に、下記の項目が分かるようにして、指導と評価の計画を1つ作成すること。</li> <li>・「1 単元の目標」、「2 単元の評価規準」、「3 指導と評価の計画」(時間 ねらい・学習活動 重点 記録 備考等)</li> </ul>		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元は各自設定すること。ただし、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料「小学校理科」に掲載されている事例1から4とは異なる単元にする。</li> <li>・A4判2ページ以内で作成すること。</li> <li>・重視する問題解決の過程や、観点別の学習状況について評価する時期や場面の精選、評価方法の工夫を意識して、それらも記入すること。</li> <li>・この提出依頼を受けて、改めて学校に協力を依頼することなく、これまでに把握されている実践を適宜参考にしながら、モデルとなる計画を本部会の参加者御自身で作成すること。</li> <li>・1人1台端末の有効的な活用についても触れること。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 当日は、グループ内で、指導と評価の計画についての良い点及び課題について共有し、よい妥当な計画にブラッシュアップするためのポイントを協議する。その後、グループごとに発表し、全体で情報共有を行う。</p>		
協議②			
協議題	学習指導要領の小学校理科改訂の要点についての実施状況について		
趣旨	小学校理科改訂の要点について、実践する上での課題及び課題の解決に向けた自治体としてや学校での取組を共有することを通して、指導主事としての学校支援の在り方、授業改善の在り方について協議する。		
提出資料	<p>今回の小学校学習指導要領は、下記2点の側面から検討され、改訂されている。そこで、この2点に関するそれぞれ具体的な実践及び改訂の要点の実施状況についての成果と課題をA4判2ページまでにまとめること(原則それぞれ1ページずつ)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題解決の活動の充実について</li> <li>2. 日常生活や社会との関連の重視について 以上</li> </ol>		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育成を目指す資質・能力を育む観点から問題解決の活動が充実されたことや、理科を学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高める観点から、日常生活や社会との関連が重視されたことを踏まえて作成すること。</li> <li>・それぞれの実践については、大まかな単元展開や授業のねらい、学習の実際等が分かるように示すこと。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 当日は、グループ内で課題を共有し、協議しながら、共通する課題やその課題の改善策等を整理する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編」
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあればよい)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元にあればよい)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_rika.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_rika.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 生活部会

協議①			
協議題	生活科における学習評価の実際と、それに対する効果的な指導・助言の在り方		
趣旨	生活科では具体的な活動や体験を通す中で、資質・能力の育成の状況を適切に把握し、指導の改善を図ることが求められている。そのためにも、単元の目標を明確にするとともに、評価計画を立て、評価規準を具体的な児童の姿として表していくことが大切である。教師の評価が、より信頼性・妥当性の高いものとなるように、指導主事が行う効果的な指導・助言の在り方について協議する。		
提出資料	貴管内(附属学校等においては学校内)の実態を踏まえ、本協議会の参加者において、生活科における一つの単元の評価規準を作成すること。なお、単元名や学年は任意とする。併せて、その単元における、ある児童の学習への取組状況を仮定し、その姿で作成した単元の評価規準を照らし合わせて、その児童に対する評価結果と判断理由を記載すること。		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成に当たっては、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 生活】を参考にすること。</li> <li>・本協議会の参加者において構想した単元の学習活動の概要についても記載すること。</li> <li>・本協議会へ参加する指導主事が、提出資料について、当日の協議の場で、根拠とともに具体的に説明できるようにしておくこと。</li> <li>・児童の個人名を記載しないよう留意すること。</li> </ul> ※ICTやクラウドを活用した取組があれば積極的に記載をすること。 <b>【協議の進め方】</b> ・提出資料を基に、学習評価における課題(評価規準の作成、学習状況の評価における信頼性や妥当性、評価時期や評価場面の精選など)に対する効果的な指導・助言について協議する。		
協議②			
協議題	生活科における中学年の各教科等への接続を意識した指導の工夫		
趣旨	小学校学習指導要領実施状況調査(速報版)では、生活科の成果と課題の一つとして、他教科等との関連を図った授業や中学年の各教科等への接続を意識した授業に関する質問への肯定的な回答は、85%を上回っているものの、「行っている」の回答は30%を下回っており、他の質問と比較し、肯定率が低い傾向にあると示されている。このことから、社会科や理科、総合的な学習の時間をはじめとする中学年の各教科等への接続を意識して、指導計画を作成することや実際の指導を行うことが求められ、低学年教育全体の教育課程の充実を図ることが必要である。そこで、中学年の各教科等への接続を意識した指導の工夫について協議する。		
提出資料	社会科や理科、総合的な学習の時間をはじめとする中学年の各教科等への接続を意識した生活科の実践事例について、下記の留意事項を踏まえ、A4判1ページ以内でまとめること。		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科、理科、総合的な学習の時間などとの接続を意識した事例を一つ記載すること。</li> <li>・事例は単元の概要がわかるようにすること。</li> <li>・附属学校等は、学校としての取組を記載すること。</li> </ul> ※ICTやクラウドを活用した取組があれば積極的に記載をすること。 <b>【協議の進め方】</b> ・提出資料を基に、グループ内で事例を共有し、中学年の各教科等への接続を意識した指導の工夫について交流するとともに、生活科としての学びを充実させていくための指導の在り方について協議する。		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_006.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_006.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 生活】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_seikat.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_seikat.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 音楽部会

協議①			
協議題	生活や社会の中の音や音楽との関わりを深める小学校音楽科の教育課程の編成と実施		
趣旨	生活や社会の中の音や音楽との関わりをより一層深める小学校音楽科の教育課程の編成と実施に向けて、各地域における現状や課題等を共有し、その対応や解決策等について協議及び情報交換を行う。		
提出資料	<p>○協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて具体的に報告するとともに、その現状と課題等について考察し記述すること。</p> <p>(1) 貴管内における、生活や社会の中の音や音楽との関わりを深める小学校音楽科の実践の好事例等(附属学校等については、学校での実践)</p> <p>(2) 貴管内における教育課程の編成や実施に係る研修等での周知や協議の内容(附属学校等については、学校での教育課程の編成や実施に係る協議等の内容)</p>		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<p>「共通様式(別紙様式2)」A4判2ページ以内に項目を立ててまとめること。 実践の好事例等については、過年度のものや、都道府県市で作成したモデル等でもかまわない。また、カリキュラム・マネジメントの視点で充実させた取組などが望ましい。 なお、参考として都道府県市作成の既存資料があれば提出してもよい。</p> <p>【協議の進め方】 当日は、グループ内で提出資料の概要を報告し、その内容を基に現状と課題及びその解決に向けた取組について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_007.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_007.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 音楽】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_ongak.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_ongak.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 図画工作 部会

協議①			
協議題	小学校図画工作科における指導計画の作成と実施に関する充実と改善に向けた取組と今後の課題		
趣旨	小学校図画工作科における指導計画の作成と実施について、その充実と改善に向けた自治体、附属学校等としての取組について共有し、今後の課題について協議する。		
提出資料	小学校図画工作科における指導計画の作成と実施に関する充実と改善に向けた取組		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<p>○各都道府県、指定都市、附属学校等における指導計画の作成と実施について、その充実と改善に向けた取組の実際をA4判1ページ程度にまとめること。</p> <p>○学習指導要領解説図画工作科編第4章1指導計画作成上の配慮事項(P104～112)を参考に、各管内での取組状況を記述する。(附属学校等においては、学校内の取組を記述)その際、すべてについて取り上げるのではなく、特徴的なものに絞って記述してもよい。</p> <p>※実際の指導計画があれば、別添すること。(任意)</p> <p>※指導・助言の際に使った資料があれば、別添すること。(任意)</p> <p>【協議の進め方】 提出資料をもとに、指導計画の作成と実施について、その充実と改善に関する取組を共有し、今後課題として取り組みたい点をその理由も併せて協議する。ここで出された課題について午後の協議②で話し合っていくことを踏まえて、ポイントを絞っていくこと。また、その際、代表者がポイントを1シート(午前と午後の協議を合わせて)に簡潔にまとめること。</p>		
協議②			
協議題	小学校図画工作科における指導計画の作成と実施に関する課題とその解決に向けて		
趣旨	小学校図画工作科における指導計画の作成と実施について、協議①で明らかにした今後の課題の解決に向けてどのような方策、支援が考えられるか協議する。		
提出資料	なし		
作成様式	—		
提出資料作成に当たったの留意事項	<p>【協議の進め方】 午前中に行った協議①で出された課題を柱に、その解決に向けた具体的な方策や支援のあり方について協議する。更に、代表者がポイントを1シート(午前と午後の協議を合わせて)に簡潔にまとめ、グループごとに発表し、全体で共有し、協議する。</p>		
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_008.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_008.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 図画工作】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_zugak.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_zugak.pdf</a>

# 令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

## 小学校 家庭部会

協議①			
協議題	家庭科における資質・能力の育成に向けた今年度の取組について		
趣旨	家庭科における資質・能力を育成するためには、学習指導要領の理解と、それを踏まえた授業改善を進めていく必要がある。そのために、本年6月に開催した各教科等担当指導主事連絡協議会において立案した今年度の取組について、その進捗状況を報告し合うとともに、来年度の指導に向けた見通しをもつ。		
提出資料	○本年6月に開催した各教科等担当指導主事連絡協議会において立案した今年度の取組についての進捗状況を報告する。 ・取組の具体、成果と課題、今後の見通し など、各自の取組に応じてまとめること。		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判2ページ以内にまとめる。(項立て、まとめ方の指定はなし)</li> <li>・実際の画像、作成した資料等を用いて報告する場合は、様式とは別に提出してもよい。(形式、ページ数は不問)</li> <li>・現時点で取り組んでいるものについては、途中経過の報告でよい。</li> <li>・思うように取り組めなかった場合は、その原因を考察し、解決策についてまとめ、報告する。</li> <li>・中学校部会に出席する場合は、中学校部会と同じものを提出してもよい。(両部会それぞれに提出すること)</li> </ul> <p>【協議の進め方】 グループ内で、各自の進捗状況を報告し合う。その後、自身の取組について「評価・改善」を行い、来年度の指導に向けた見通しをもつ。グループ内での協議後、全体で共有する。</p>		
協議②			
協議題	問題解決的な学習における「評価・改善」の在り方		
趣旨	家庭科における資質・能力を育成するためには、一連の学習過程に沿った問題解決的な学習を通して課題を解決する力を養うことが大切である。今回は、一連の学習過程の一つである「評価・改善」に焦点をあて、より効果的な「評価・改善」の在り方について協議する。		
提出資料	○問題解決的な学習における「評価・改善」の好事例又はそれに代わるもの ・「なぜ、子供にとって必要感のある『評価・改善』の場面となったと考えるのか」を分析・考察すること。		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判2ページ以内にまとめる。(項立ての指定はなし)</li> <li>・事例については、小学校での実践とし、題材の指導計画(概要でよい)を必ず盛り込む。</li> <li>・事例に基づき、授業記録、題材の構想、教師の手立て、子供の姿等から分析・考察をまとめる。</li> <li>・学習指導案、実際の画像、授業記録等を盛り込む場合は、様式とは別に提出してもよい。(形式、ページ数は不問)</li> <li>・附属学校等の教員は自身の実践についてまとめる。</li> <li>・好事例がなかった場合は、指導主事が考える「理想の授業」を基にまとめる。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 グループ内で、事例とその考察を発表し合い、「子供にとって必要感のある『評価・改善』が生まれる授業づくりのポイント」をまとめる。グループ内での協議後、全体で共有する。</p>		
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 家庭編
		用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230411-mxt_kyoiku01_09.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230411-mxt_kyoiku01_09.pdf</a>	
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校 家庭】
用意しておく箇所		資料全体	
インターネットでの掲載場所		<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hvouka/r020326_pri_katei.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hvouka/r020326_pri_katei.pdf</a>	

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 体育部会

協議①		
協議題	体育に関する課題解決に向けた取組について	
趣旨	令和6年度各教科等担当指導主事連絡協議会(以下、R6連絡協議会)で作成した課題や協議した内容を踏まえ、体育に関する課題解決に向けた取組の現状について発表・協議することを通して、指導主事としての今後の実践や具体的な支援の在り方等につなげる。	
提出資料	体育に関する課題解決に向けた現在の取組や検討していること、今後の計画等についてA4版1枚にまとめること。	
作成様式	別紙様式2 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>○下記の【項目】について作成すること。(グループ及び全体協議等において、本資料を活用する)</p> <p>【項目】</p> <p>(1) 体育に関する課題解決に向けた現在の取組や検討していること、今後の計画等</p> <p>(2) (1)について工夫した点や重点化した点</p> <p>(3) 現在の取組や検討の中で出てきた新たな課題等</p> <p>○別紙様式の&lt;協議題&gt;「~~~~」の下部に、下記&lt;参考&gt;の①~④のいずれかを明記すること。</p> <p>&lt;&lt;参考:R6連絡協議会において各自が作成した課題&gt;&gt;</p> <p>①体育に関する施策等に関すること(自治体の振興計画 等)</p> <p>②体育の授業に関すること(指導と評価、内容の系統性、カリキュラム・マネジメント、体育と保健の関連 等)</p> <p>③体育の授業以外に関すること(運動習慣の形成、授業以外の体力向上、家庭との連携 等)</p> <p>④研修の在り方に関すること(コロナ以降の実技研修、効果的な研修の在り方 等)</p>	
にそ て手 のお元 他に くは 部 資 用 会 料 意 当 し 日	資料名	・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編 文部科学省 ・自治体で作成している資料や教育委員会等で作成・使用している関連資料等
	① 用意しておく 箇所	
	インターネット での掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_010.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_010.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 外国語活動・外国語部会

協議①		
協議題	言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための個に応じた指導の在り方について ～「個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実」の事例をもとに～	
趣旨	学習指導要領の総則「第4 児童の発達の支援」の中で、「個に応じた指導」の充実を図ることについて示されている。この「個に応じた指導」の在り方を、より具体的に示した「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)」において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実の重要性が示されている。外国語活動・外国語科の授業においても、言語活動及び言語活動を通じた指導の充実を目指し、ICT環境を最大限活用し「個別最適な学び」の成果を「協働的な学び」に生かし、更にその成果を「個別最適な学び」に還元するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことが大切である。そこで、「個に応じた指導」を充実させることが、小学校外国語の目標であるコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することにつながることの重要性を再確認する。今年度6月に実施した担当指導主事連絡協議会における協議を踏まえ、市区町村教育委員会及び学校に対して、特に強調して指導・助言してきた内容を加えた(附属学校等においては、当該学校で大切にしている内容について)実践事例をもとに協議する。	
提出資料	・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することにつながっている、「個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実」が含まれた実践事例 ①単元構想 ②担当指導主事連絡協議会後、市区町村教育委員会及び学校に対して特に強調して指導・助言してきた内容(附属学校等においては、当該学校で大切にしている内容について) ③コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成につながっている、「個別最適な学びと、協働的な学びの一体的な充実」の様子の説明(写真を載せて可)と、それらがコミュニケーションを図る資質・能力の育成にどうつながっているかについての説明 ※ICTの活用やALTの参画場面に関することについては含めること	
作成様式	別紙様式9	
提出資料作成に当たっての留意事項	(③についての補足) 実践事例をもとに協議する際に、より具体的に説明ができるよう、写真を掲載していただいても構わない。その場合は、写真に写っている児童や教師等の許諾を得ること。また教科書等が写っている場合は、著作権の許諾を得ること。許諾が得られない場合は、写真を加工等して提出すること。(提出いただいた指導主事会の資料を、当日参加する指導主事等に事前配布するため。また、後日オンデマンド当日オンライン配信をするため。) <b>【協議の進め方】</b> ・当日は、グループ内で、実践事例を基に協議する。グループ協議後、全体で共有する。	
協議②		
協議題	言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成するための指導・助言の視点について	
趣旨	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説には、「『外国語で表現し伝え合う』ためには、適切な言語材料を活用し、思考・判断して情報を整理するとともに、自分の考えなどを形成、再構築することが重要である」と記されている。市区町村教育委員会及び学校に対して指導・助言する(附属学校等においては、当該学校で取り組む)に当たって、各単元や各時間における、言語活動を通じた指導を行うために大切な視点を、当日提示する指導案をもとに協議する。	
提出資料	なし	
作成様式	—	
提出資料作成に当たっての留意事項	<b>【協議の進め方】</b> ・当日、発信能力に関する指導案を1つ提示する。普段の指導・助言(附属学校等においては、実践)を生かし個人で考えた後、グループ協議、全体共有を行う。	
情報交流		
提出資料	①小学校外国語教育の充実に向けた施策・事業について(附属学校等においては、小学校外国語教育の充実に向けて当該学校で取り組んでいる内容について) ア)小学校外国語教育の充実に向けて、力を入れたい内容 イ)今後取り組みたいこと ②小学校外国語教育の充実に向けて実施している研修等について(附属学校等については回答不要)	
作成様式	①別紙様式10 ②Microsoft Formsにて回答 <a href="https://forms.office.com/r/HDFPN9fuDH">https://forms.office.com/r/HDFPN9fuDH</a>  ※Formsにて回答できない場合は、別紙様式11	
提出資料作成に当たっての留意事項	①ア)イ)を併せて、A4判1ページ程度でまとめること。 ①ア):各自治体においては英語教育改善プランを基に作成すること。 ①イ):ア)に係って記載すること。 <b>【情報交流の進め方】</b> ・当日は、協議①②とは別に、提出資料を基にグループ内で交流をする。	
部会当日までに読んで理解しておく資料	資料名	①「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 (令和3年3月版) ②「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」(令和3年1月26日 中央教育審議会答申)(令和3年4月22日更新) ③「学習者用デジタル教科書について」文部科学省 ④「学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン」(令和3年3月改訂) ⑤「外国語教育はこう変わる！」文部科学省mextchannel ⑥初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドラインver1.0 ※機動的な改訂を想定(令和5年7月4日 文部科学省初等中等教育局) ⑦今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会(第13回)配付資料【資料2-1】【資料2-2】【資料2-3】
	用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
	インターネットでの掲載場所	① <a href="https://www.mext.go.jp/content/20210428-mxt_kvoiku01-00014639_13.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210428-mxt_kvoiku01-00014639_13.pdf</a> ② <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm">https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm</a> ③ <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kvoukasho/seido/1407731.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kvoukasho/seido/1407731.htm</a> ④ <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/139/houkoku/1412207_00001.htm">https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/139/houkoku/1412207_00001.htm</a> ⑤ <a href="https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f">https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f</a> ⑥ <a href="https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyo02-000030823_003.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyo02-000030823_003.pdf</a> ⑦ <a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/184/siryo/mext_00014.html">https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/184/siryo/mext_00014.html</a>
手元に他用部会に留意して当てる資料	資料名	①小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編 ②令和6年度英語教育改善プラン
	用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
	インターネットでの掲載場所	① <a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf</a> ② <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1418086_00008.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1418086_00008.htm</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 道徳部会

協議①			
協議題	道徳科における多様な指導方法の工夫について		
趣旨	「令和3年度道徳教育実施状況調査」では、学校対象調査の「道徳科の授業を実施する上での課題」として、小・中学校ともに半数を超える学校が、「話し合いや議論などを通じて、考えを深めるための指導」「物事を多面的・多角的に考えるための指導」「道徳的価値の理解を自分との関わりで深めるための指導」といった指導方法に関する項目を選択している。このような状況を踏まえ、課題の解決に向けた道徳科における多様な指導方法の工夫について協議を行う。		
提出資料	○貴管内における実態(実施状況調査等の全国調査と各都道府県における調査等の比較)を踏まえ、以下の点について、A4判1ページ程度でまとめること。 (1)道徳科の指導における課題について(域内の課題について、「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」の115・116ページに示されている「道徳科の学習指導過程や指導方法に関する評価の観点」のA～カから該当する観点を資料上に明確に示すこと。) (2)課題を踏まえた道徳科の授業における指導事例について(一人一台端末等のICTの活用を含む事例を示すこと。)  ○参考資料等があれば、上記「提出資料」と併せて、A4判2ページ程度で提出すること。その際、1ページ目の余白(原則として資料上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を記入すること。(様式は任意)		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	・附属学校等は、学校としての取組と課題について作成すること。  【その他基本的な留意事項】 ・写真を使用する場合には、顔や名札等の個人を識別することができる情報を隠す等の加工を行うことにより、児童生徒等のプライバシーに十分配慮すること。その際、端末の画面などへの映り込みにも留意すること。 ・学校名や個人名などを明らかにする場合には、事前に許可を得ること。 ・別紙を参考に、用語の統一を図ること。 ・資料は厳選したもののみを提出すること。  【協議の進め方】 研究協議(75分)・発表(15分)・講評(5分) ・道徳科における多様な指導方法の工夫について ※主として提出資料をもとにした研究協議		
協議②			
協議題	パネルディスカッション 「道徳科における多様な指導方法の工夫に関わる教育委員会としての取組や指導・助言等の在り方について」		
趣旨	第4期教育振興基本計画(令和5年6月閣議決定)では、「国においては、更なる授業改善と指導力の向上に資するよう、地方公共団体等との連携の下、優れた授業動画や教材等を集約したアーカイブの充実を図るとともに、高等学校を含めた各学校や地域等が抱える課題に応じた取組を推進する」と示しており、道徳科においては、引き続き、教科化以降の実践的知見の見える化、共有化を図り、教師の指導力向上に資するようになる必要がある。そこで、パネルディスカッションを行い、パネラーの発表や提出資料、午前の研究協議等を踏まえながら、参加者全体で道徳科における多様な指導方法の工夫に関わる教育委員会としての取組や指導・助言等の在り方について協議を行う。なお、附属学校等は、学校としての取組について協議を行う。		
提出資料	なし		
提出資料作成に当たっての留意事項	【パネルディスカッションの進め方】 ・趣旨説明(10分) ・パネラーからの発表(各10分×3人)(30分) ・パネラー間の意見交換等(20分) (途中 準備等)(10分) ・参加者との意見交換等(45分) ※パネラーの発表や提出資料、午前の研究協議等を踏まえた意見交換等 ・振り返り(25分) ・まとめ(10分)		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_002.pdf">https://www.mext.go.jp/content/220221-mxt_kyoiku02-100002180_002.pdf</a>
	②	資料名	道徳教育アーカイブ
		用意しておく箇所	必要に応じて、適宜参照
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://doutoku.mext.go.jp/">https://doutoku.mext.go.jp/</a>



令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

小学校 特別活動部会

協議			
協議題	児童会活動を自発的、自治的な活動にするための指導について		
趣旨	児童会活動は、学校生活の充実と向上を図るために学校の全児童をもって組織する異年齢集団活動の児童会による自発的、自治的な活動である。社会参画の態度を養う観点からも、委員会活動等で学校内の役割を分担することに留まらず、よりよい学校生活とするための課題を子供たちが見いだし、話し合いによって合意形成し、協力して実現できるようにする活動を充実していくことが求められている。そこで、自発的、自治的な活動を生かした児童会活動となるような年間指導計画を実際に作成しながら、そうした児童会活動の充実に向けた教育委員会としての取組や指導主事としての学校支援の在り方(附属小学校等については学校としての取組)について協議する。		
提出資料	貴管内における実態を踏まえて、担当指導主事において、実際に活用できる児童会活動における年間指導計画を作成すること。併せて、域内の学校における自発的、自治的な活動を生かした児童会活動の充実に向けた現在行っている教育委員会としての取組や指導主事としての学校への支援(附属学校等については学校としての取組)を記載すること。		
作成様式	任意様式 ※留意事項を踏まえて作成すること		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●A4判2ページ以内とする。</li> <li>●提出資料の様式や形式は任意だが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号、氏名を必ず記入すること。</li> <li>●作成する年間指導計画には、以下の項目については必ず記載すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における児童会活動の目標</li> <li>・代表委員会、各委員会の組織と構成</li> <li>・活動時間の設定</li> <li>・年間に予想される主な活動</li> <li>・指導上の留意点</li> </ul> </li> </ul> <p>※一人一台端末やクラウドを活用した工夫、活用に当たっての留意点等も積極的に記載すること。  ※教育委員会としての取組や指導主事としての学校への支援は、これまでに取り組んでいる内容(今年度の予定を含む)を記載すること。取組等がない場合には、ない旨を記載すること。  ※附属学校等については、学校の取組をまとめること。  ※「小学校特別活動映像資料【児童会活動編】」(国立教育政策研究所 作成)を視聴するなど、以下用意しておく資料で示している資料等も参考にされたい。</p> <p>当日は、提出資料を用いて以下のようにグループ協議を進める。  【グループ協議の進め方】  (1)各自作成した年間指導計画について、グループ内で説明する。  (2)各自作成した年間指導計画について、グループ内で指導・助言をし合う。  (3)指導・助言も踏まえ、グループで1つ、自発的、自治的な活動を生かした児童会活動となるような年間指導計画を作成する。  (4)自発的、自治的な児童会活動とするための教育委員会としての取組や指導主事としての学校支援の在り方(附属小学校等については学校としての取組)について協議する。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20221213-mxt_kyoiku02-100002607_014.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20221213-mxt_kyoiku02-100002607_014.pdf</a>
	②	資料名	・特別活動指導資料小学校編(国立教育政策研究所) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校特別活動】(国立教育政策研究所) ・小学校特別活動映像資料解説パンフレット【児童会活動・クラブ活動編】(国立教育政策研究所)
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 国語部会

協議①			
協議題	学習指導要領を踏まえた中学校国語科の授業づくりの実際(「読書」に関する指導)		
趣旨	中学校学習指導要領の全面実施4年目を迎え、各学校における実施状況を踏まえて、[知識及び技能]③の「読書」に関する指導事項に重点を置いて指導する事例を持ち寄り、その事例の良い点及び改善点を共有し、読書指導の改善・充実に向けた学校支援の在り方について協議する。		
提出資料	・[知識及び技能]③の「読書」に関する指導事項に重点を置いて指導する1事例		
作成様式	別紙様式12		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙様式12を用いて、A4判2ページ程度で作成すること。</li> <li>・実際の事例の提出が難しい場合は、教育委員会等で作成した指導事例、指導主事が考えた指導アイデア例でも構わない。</li> <li>・事例については、[思考力、判断力、表現力等]に示す事項の指導を通して[知識及び技能]③の「読書」に関する指導事項を重点的に指導する事例でもよいし、必要に応じて「読書」に関する指導事項だけを取り上げて重点的に指導するなど指導の効果を高めるよう工夫している事例でもよい。</li> <li>・事例は、中学校第1学年から第3学年までのどの学年を対象としたものでもよい。</li> <li>・様式に沿って、事例の概要と共に当該事例に対する指導主事等としての評価を記載すること。</li> <li>・できる限り、「生徒が学習活動に取り組む際」又は「教師が指導と評価の一体化を図る際」に、1人1台端末を効果的に活用した事例とすること。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 当日は、グループ内で事例を共有してモデルとなる事例を選び、その事例を基に「読書」に関する指導上の課題と改善策を検討する。その後、他グループの考えた課題と改善策を評価することを通して、読書指導の改善・充実に向けた効果的な学校支援の在り方を検討する。</p> <p>※参加者には再度追ってご連絡しますが、当日参集いただく方については、パソコン(文字入力や閲覧に差し支えがなければタブレット端末等でも可。)を各自ご持参ください。ネットワーク環境が準備できる方(ポケットWi-Fiやデザリング)についても、ご負担のない範囲で準備をお願いいたします。また、会場の使用電力量や電源タップの数に限りがあるため、参加者が一斉にコンセントに繋いだままでの使用は出来ません。予め十分に充電した状態にいただき、必要に応じてモバイルバッテリー等をご持参いただく等のご対応をお願いいたします。</p>		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料	①中学校国語科における「個に応じた指導の充実」に関する実践事例や指導資料(1人1台端末とクラウドを活用することで、学習内容の習熟の程度に応じた学習、生徒の興味・関心等に応じた課題学習等を工夫している事例など) ②読書指導の充実に関する実践事例や指導資料(国語科における一単元の事例に限らず、他教科等における読書の指導や学校図書館における指導など学校の教育活動全体における読書の指導と関連付けたカリキュラム・マネジメント等に関する実践事例や指導資料でもよい。)		
作成様式	任意様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	教育委員会等で作成した資料や、指導主事等として参観した授業の学習指導案等で提出できる資料がある場合に提出する。新たに作成する必要はない。 ・様式は任意とするが、1ページ目の余白に、「部会名(国語部会)」、「都道府県・指定都市名(学校名等)」、「都道府県・指定都市番号」を記載すること。		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 国語編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_002.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_002.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 国語】
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_kokugo.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_kokugo.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 社会部会

協議①			
協議題	社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習の充実について		
趣旨	社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習にどのように取り組むのか、提出資料を基に協議を行い、今後の学校に対する支援・助言に活かす。		
提出資料	①「社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察する」事例、②「社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする」事例を提出する。		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>【資料作成に当たっての留意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①「社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察する」事例とは、主に「内容」イで「考察し、表現すること」とされている内容のまとまりの事例である。②「社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想する」事例とは、主に「内容」イで「考察、構想し、表現すること」とされている内容のまとまりの事例である。</li> <li>・①を一つ、②を一つ作成する。</li> <li>・単元の選択については、①②とも任意で、いずれの分野でも構わない。それぞれA4判2ページ以内で作成すること。</li> <li>・各事例の冒頭に分野名を記載するようにする。</li> <li>・提出資料に関する資料を別途添付することも可能である。</li> </ul> <p>【協議の進め方】</p> <p>提出資料についてグループ内で発表と質疑を行う。その後、グループで、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握してその解決に向けて構想したりする学習活動を推進する上での課題をまとめ、その対応について協議する。最後に協議のポイント等についていくつかのグループから発表し、情報共有を行う。</p>		
協議②			
協議題	中学校社会科における高等学校地理歴史科、公民科の内容との関連を図った学習指導の現状と課題について		
趣旨	令和6年6月の各教科等担当指導主事連絡協議会(中学校・社会部会)においては「中学校社会科における小学校社会科の内容との関連を図った学習指導」について行政説明を行った。中学校社会科の学習においては、小学校社会科の内容との関連を図るとともに、さらに、「高等学校地理歴史科、公民科の内容との関連を図り、全体として教科の目標が達成できるようにする必要」がある。こうした経緯等を踏まえ、効果的な指導助言の方法について検討する。		
提出資料	「中学校社会科における高等学校地理歴史科、公民科の内容との関連を図った学習指導の現状と課題」に関する質問事項についてアンケートフォームより回答する。		
作成様式	アンケートフォームにより回答		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>【アンケートフォームによる回答に当たっての留意事項】</p> <p>下記URLからアンケートフォームにアクセスし、回答すること。なお、本協議会参加者自身の理解で答えていただければ十分であり、本アンケートについて域内の学校に展開することは控えていただきたい。</p> <p>アンケートフォーム：<a href="https://forms.office.com/r/7psn32tWF1">https://forms.office.com/r/7psn32tWF1</a></p> <p>QRコード：</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>アンケートの回答結果を基に、グループごとに、現状と課題についての情報交換及び課題に対する今後の取り組みについて協議を行う。</p>		
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)			
提出資料	「課題を追究、解決する過程においてICTを効果的に活用した」授業実践の好事例を提出する。		
作成様式	別紙様式13		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>(依頼の趣旨)</p> <p>令和6年6月の各教科等担当指導主事連絡協議会(中学校・社会部会)においては「課題を追究、解決する過程におけるICTの効果的な活用」について、社会科らしい取組を充実させていく重要性が確認された。こうした経緯等を踏まえ、その全国的な実施状況について把握する。</p> <p>(提出資料作成に当たっての留意事項)</p> <p>「課題を追究、解決する過程においてICTを効果的に活用した」授業実践について、指定の様式(A4判2ページ)で作成すること。</p>		
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_003.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_003.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 社会】
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hvouka/r020326_mid_shakai.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hvouka/r020326_mid_shakai.pdf</a>

# 令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

## 中学校 数学会

協議①			
協議題	数学的な知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成することについて		
趣旨	知識については、生徒が学習の過程を通して個別の知識を学びながら、そうした新たな知識が既得の知識及び技能と関連付けられ、各教科等で扱う主要な概念を深く理解し、他の学習や生活の場面でも活用できるような確かな知識として習得されるようにしていくことが重要となる。そこで、本協議では、数学的な知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成することに向けて、授業改善の現状や課題に関する情報交換を行うとともに今後の取組について具体的に協議する。		
提出資料	貴管内(又は貴附属学校等)における実態を踏まえ、次の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述する。 (1) 数学的な知識の理解の質を更に高め、確かな学力を育成することに向けた学習指導と評価における実践上の成果と課題 (2) 「(1)で挙げた課題」の改善に向けたアイデア又は指導事例(今後取り組む予定の検討案でもよい)		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)、(2)あわせてA4判2ページ以内で作成する。</li> <li>・各都道府県・指定都市(又は各附属学校等)において作成し、域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料や、授業実践例の指導計画、指導案など協議題に関連する資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。なお、様式は任意で、1枚目の余白(原則として資料上部)に、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記すること。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 当日は、持ち寄った資料や事例をもとに、グループ内で成果と課題を共有し、共通する課題や改善を図るためのアイデア等について協議する。</p>		
協議②			
協議題	中学校数学科「C 関数」領域における授業づくりについて		
趣旨	中学校数学科「C 関数」領域における学習指導と評価について、具体的な事例について共有、検討することを通して、指導主事としての今後の学校支援や指導・助言(又は附属学校等における学習指導の改善)に生かすことができるようにする。		
提出資料	「関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現すること」(関数の利用)について指導する事例(指導案)		
作成様式	任意様式 (※「提出資料作成に当たったの留意事項」を要確認)		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導案の形式で提出すること。様式は任意で、A4判6ページ以内とする。1枚目の余白(原則として資料右上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。</li> <li>・実際の事例(指導案)の提出が難しい場合は、教育委員会等で作成した指導事例、指導主事が考えた指導事例アイデア例でも構わない。</li> <li>・いずれの学年の指導事例でも構わない。</li> <li>・できる限り、「生徒が学習活動に取り組む際」又は「教師が指導と評価の一体化を図る際」に、ICT端末を効果的に活用した事例とすること。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 グループ内で提出事例のポイントを整理し、整理した内容を踏まえて具体的な指導・助言の在り方や内容等について協議する。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 数学編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 数学】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html</a>
	③	資料名	令和6年度 全国学力・学習状況調査 報告書【中学校】数学
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はない。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mmath.pdf">https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/report/data/24mmath.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 理科部会

協議①			
協議題	授業における「ICTの効果的な活用場面」を明示した単元の指導計画について		
趣旨	単元の指導計画において、「授業におけるICTの効果的な活用場面」を明示した事例の共有と作成を行い、今後の学校支援につなげる。		
提出資料	貴管内(附属学校等の場合は貴校)の好事例を基にした、「授業におけるICTの効果的な活用場面」を明示した単元の指導計画例		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判2ページ程度とする。</li> <li>・提出する単元の指導計画例は一つとする。</li> <li>・単元の指導計画例は、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」P.46、47の「1 単元の目標」「2 単元の評価規準」「3 指導と評価の計画」を参考にして作成すること。</li> <li>・「授業におけるICTの効果的な活用場面」については、「3 指導と評価の計画」の備考欄に記載すること。なお、当日の研究協議において、「ICTの効果的な活用」であることを説明できるようにしておくこと。</li> </ul> <p>【協議の進め方(予定)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提出した単元の指導計画例を基に、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の4つの領域別のグループを編成する。グループ内で提出事例のポイントを整理し、事例に即して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し、全体で情報共有を行う。</li> </ul>		
協議②			
協議題	中学校理科における安全な観察・実験の実施に関する取組について		
趣旨	観察・実験の充実を図る観点から、安全な観察・実験を行うための取組と環境整備(理科室等)について共有し、貴管内における今後の対応の参考とする。		
提出資料	安全な観察・実験を行うための取組と環境整備(理科室等)についての事例(令和6年6月に行われた各教科等担当指導主事連絡協議会において、事故防止について周知したが、その後の取組状況なども含めて記載すること。)		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判1ページ程度で作成すること。</li> </ul> <p>【協議の進め方】</p> <p>事例集の作成や研修等の取組から、安全性の向上を図るためのよりよい取組を協議する。協議した内容はグループごとに発表し、全体で情報を共有する。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 理科編
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はありません。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387016.htm</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 理科】
		用意しておく箇所	資料全体(データとして手元があれば、印刷などの必要はありません。)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html</a>
	③	資料名	提出資料に関わる教科書
		用意しておく箇所	1冊
		インターネットでの掲載場所	

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 音楽部会

協議①			
協議題	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化との関わりを深める中学校音楽科の教育課程の編成と実施		
趣旨	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化との関わりを一層深める中学校音楽科の教育課程の編成と実施に向けて、各地域における現状や課題等を共有し、その対応や解決策等について協議及び情報交換を行う。		
提出資料	<p>○協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて具体的に報告するとともに、その現状と課題等について考察し記述すること。</p> <p>(1) 貴管内における、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化との関わりを深める中学校音楽科の実践の好事例等(附属学校等については、学校での実践)</p> <p>(2) 貴管内における教育課程の編成や実施に係る研修等での周知や協議の内容(附属学校等については、学校での教育課程の編成や実施に係る協議等の内容)</p>		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>「共通様式(別紙様式2)」A4判2ページ以内に項目を立ててまとめること。 実践の好事例等については、過年度のものや、都道府県市で作成したモデル等でもかまわない。また、カリキュラム・マネジメントの視点で充実させた取組などが望ましい。 なお、参考として都道府県市作成の既存資料があれば提出してもよい。</p> <p>【協議の進め方】 当日は、グループ内で提出資料の概要を報告し、その内容を基に現状と課題及びその解決に向けた取組について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20220419-mxt_kyoiku02-100002608_06.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20220419-mxt_kyoiku02-100002608_06.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 音楽】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_ongak.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_ongak.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 美術 部会

協議①		
協議題	中学校美術科における指導計画の作成と実施に関する充実と改善に向けた取組と今後の課題	
趣旨	中学校美術科における指導計画の作成と実施について、その充実と改善に向けた自治体、附属学校等としての取組について共有し、今後の課題について協議する。	
提出資料	中学校美術科における指導計画の作成と実施に関する充実と改善に向けた取組	
作成様式	別紙様式2 ※共通様式	
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>○各都道府県、指定都市、附属学校等における指導計画の作成と実施について、その充実と改善に向けた取組の実際をA4判1ページ程度にまとめること。</p> <p>○学習指導要領解説美術科編第4章1指導計画作成上の配慮事項(P116～124)を参考に、各管内での取組状況を記述する。(附属学校等においては、学校内の取組を記述)その際、すべてについて取り上げるのではなく、特徴的なものに絞って記述してもよい。</p> <p>例:1年生の題材と3年生の題材における効果的なつながり、表現と鑑賞の指導の関連…など</p> <p>※実際の指導計画があれば、別添すること。(任意)</p> <p>※指導・助言の際に使った資料があれば、別添すること。(任意)</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>提出資料をもとに、指導計画の作成と実施について、その充実と改善に関する取組を共有し、今後課題として取り組みたい点をその理由も併せて協議する。ここで出された課題について午後の協議②で話し合っていくことを踏まえて、ポイントを絞っていくこと。また、その際、代表者がポイントを1シート(午前と午後の協議を合わせて)に簡潔にまとめること。</p>	
協議②		
協議題	中学校美術科における指導計画の作成と実施に関する課題とその解決に向けて	
趣旨	中学校美術科における指導計画の作成と実施について、協議①で明らかにした今後の課題の解決に向けてどのような方策、支援が考えられるか協議する。	
提出資料	なし	
作成様式	—	
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>【協議の進め方】</p> <p>午前中に行った協議①で出された課題を柱に、その解決に向けた具体的な方策や支援のあり方について協議する。更に、代表者がポイントを1シート(午前と午後の協議を合わせて)に簡潔にまとめ、グループごとに発表し、全体で共有し、協議する。</p>	
その他部会当日に用意しておく資料	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 美術編
	① 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_007.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_007.pdf</a>
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 美術】
	② 用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid bijyut.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid bijyut.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 保健体育部会

協議①			
協議題	保健体育に関する課題解決に向けた取組について		
趣旨	令和6年度各教科等担当指導主事連絡協議会(以下、R6連絡協議会)で作成した課題や協議した内容を踏まえ、保健体育に関する課題解決に向けた取組の現状について発表・協議することを通して、指導主事としての今後の実践や具体的な支援の在り方等につなげる。		
提出資料	保健体育に関する課題解決に向けた現在の取組や検討していること、今後の計画等についてA4版1枚にまとめること。		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>○下記の【項目】について作成すること。(グループ及び全体協議等において、本資料を活用する)</p> <p>【項目】</p> <p>(1) 保健体育に関する課題解決に向けた現在の取組や検討していること、今後の計画等</p> <p>(2) (1)について工夫した点や重点化した点</p> <p>(3) 現在の取組や検討の中で出てきた新たな課題等</p> <p>○別紙様式の&lt;協議題&gt;「~~~~」の下部に、下記&lt;参考&gt;の①~④のいずれかを明記すること。</p> <p>&lt;参考:R6連絡協議会において各自が作成した課題&gt;</p> <p>①保健体育に関する施策等に関すること(自治体の振興計画 等)</p> <p>②保健体育の授業に関すること(指導と評価、内容の系統性、カリキュラム・マネジメント、体育と保健の関連 等)</p> <p>③保健体育の授業以外に関すること(運動習慣の形成、授業以外の体力向上、家庭との連携 等)</p> <p>④研修の在り方に関すること(コロナ以降の実技研修、効果的な研修の在り方 等)</p>		
にそ て手 のお 元他 くに 部 資 用 会 料 意 当 日	①	資料名	・中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編 文部科学省 ・自治体で作成している資料や教育委員会等で作成・使用をしている関連資料等
		用意しておく箇所	
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210113-mxt_kyoiku01-100002608_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210113-mxt_kyoiku01-100002608_1.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 技術部会

協議①		
協議題	技術分野の3年間の指導計画の作成に関する自治体としての指導について	
趣旨	中学校学習指導要領技術・家庭では、第3 指導計画の作成と内容の取扱いについて示されている。しかし、この中の3年間の指導計画の作成について、課題があると考えられる。 例えば、技術の指導状況改善に関わる調査の中では、毎年技術の教員が変わるため、3年間の中で指導内容や項目に偏りが見られたり、項目の指導が適切に行われないといった情報があげられた。また、各教科等担当指導主事連絡協議会や各教科等教育課程研究協議会の中で、充実した社会の発展と技術の授業実施や、項目同士の有機的な関連を図った指導計画の作成等を取り扱ってきたが、これらを実現するためには3年間の指導計画の作成が欠かせない。 そこで、各学校において技術分野の目標の実現を目指すための3年間の指導計画の確実な作成と着実な指導の実施が、現状の技術分野が抱える問題の解決につながるという認識のもと、各学校における3年間の指導計画作成の課題を共有するとともに、その課題の解決策及び学校への周知の手立てについて協議し、今後の指導・助言に活かす。	
提出資料	次の内容について記載すること。 ①貴自治体における3年間の指導計画の作成の指導の有無 ②(有の場合)3年間の指導計画の作成の指導の内容と課題(要約でよい) (無の場合)指導主事が感じている3年間の指導計画作成の現状と課題 ③3年間の指導計画作成状況の把握とその方法 ④3年間の指導計画の好事例(あれば) ※その他、必要な事項があれば追記も可能。 ※国立大学の附属学校等所属の参加者は、自校の取組に置き換える。①は作成の有無。②は(有の場合)実践している上での成果と課題。(無の場合)現状どのようにしているか。③は記載しなくてよい。④は可能であれば、自校の令和6年度入学生計画を提出。	
作成様式	別紙様式2 ※共通様式	
提出資料作成に当たった際の留意事項	・上記①～③について、A4判1～2ページ程度でまとめること。④がある場合、様式2とは別に添付しても構わない。 ・各都道府県・指定都市等において、②③に関連して作成した資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。なお、様式は任意とするが、1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 ・③については、ある年度の3年間の指導計画を把握しているかどうか(例えば、令和6年度入学生の令和8年度までの指導計画)を記載すること。 ・④3年間の指導計画の好事例の選定においては、学習指導要領では内容の配当時数の規定はしていないことを承知しつつ、国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料 中学校 技術・家庭」に掲載された、各内容の指導事例に示された内容項目の指導時数を参考に判断し、添付すること。 ・3年間の指導計画作成の考え方は、中学校学習指導要領技術・家庭 第3 指導計画の作成と内容の取扱い、及び、中学校技術・家庭(技術分野)のねらいの実現を目指して～説明動画～(https://www.youtube.com/watch?v=s8Z3f-hidGU)を参照すること。  【協議の進め方】 ①グループごとに、提出資料に記載した①～④について共有する。 ②ア)3年間の指導計画の作成を周知徹底する方略、イ)作成された指導計画が適切かどうか把握したり指導する方略、ウ)その他協議内で上がった課題の解決方法、について協議の上まとめる。 協議の方法は特に定めませんが、付箋紙など、協議の補助となる道具を文科省で準備する。また、各グループで所定の様式の電子スライドにまとめる。(後日共有のため) ③グループ協議の内容について発表し、全体で共有する。	
協議②		
協議題	技術分野の教員同士の情報交換体制の確立について	
趣旨	技術分野を担当する教員は、各校1名という状況がほとんどであり、指導と評価の仕方、教材・教具の準備や選定、研究やその他の情報について得にくい状況がある。 この状況の解決をはかるため、各自治体での取組、もしくは協議会に参加する指導主事の知っている情報、経験を基に、情報交換体制の確立のヒントを探る。	
提出資料	次の内容について記載すること。 ①各自自治体における、技術分野の教員同士の情報交換や体制の現状 ②把握している情報交換体制をつくるための取組 ③情報交換体制を実現もしくは充実する手立ての提案 ※その他、必要な事項があれば追記も可能。 ※国立大学の附属学校等所属の参加者は、自校の取組に置き換える。①については参加職員が把握している範囲。	
作成様式	別紙様式2 ※共通様式	
提出資料作成に当たった際の留意事項	・上記①～③について、A4判1ページ程度でまとめること。 ・②については、自治体としての取組の有無に関わらず、情報を持っている事例を記載。なお、そのことに関して資料がある場合には別紙で添付してもよい(添付資料の提出は任意)。  【協議の進め方】 ①グループごとに、提出資料に記載した①～③について共有する。 ②情報交換体制を実現もしくは充実する手立てについて協議の上まとめる。 協議の方法は特に定めませんが、付箋紙など、協議の補助となる道具を文科省で準備する。また、各グループで所定の様式の電子スライドにまとめる。(後日共有のため) ③グループ提案内容を発表し、全体で共有する。	
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
提出資料	本年6月に開催した各教科等担当指導主事連絡協議会を受け、技術分野の指導状況改善に向けて始めた、もしくは計画している取組	
作成様式	別紙様式2 ※共通様式	
提出資料作成に当たった際の留意事項	・該当する取組を把握していれば資料を作成の上、提出すること(提出は任意)。	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afidfile/2019/03/18/1387018_009.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afidfile/2019/03/18/1387018_009.pdf</a>
	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 技術・家庭】
用意しておく箇所	資料全体	
インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g-jiyut.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g-jiyut.pdf</a>	

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 家庭部会

協議①			
協議題	家庭分野における資質・能力の育成に向けた今年度の取組について		
趣旨	家庭分野における資質・能力を育成するためには、学習指導要領の理解と、それを踏まえた授業改善を進めていく必要がある。そのために、本年6月に開催した各教科等担当指導主事連絡協議会において立案した今年度の取組について、その進捗状況を報告し合うとともに、来年度の指導に向けた見通しをもつ。		
提出資料	○本年6月に開催した各教科等担当指導主事連絡協議会において立案した今年度の取組についての進捗状況を報告する。 ・取組の具体、成果と課題、今後の見通し など、各自の取組に応じてまとめること。		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判2ページ以内にまとめる。(項立て、まとめ方の指定はなし)</li> <li>・実際の画像、作成した資料等を用いて報告する場合は、様式とは別に提出してもよい。(形式、ページ数は不問)</li> <li>・現時点で取り組んでいるものについては、途中経過の報告でよい。</li> <li>・思うように取り組めなかった場合は、その原因を考察し、解決策についてまとめ、報告する。</li> <li>・小学校部会に出席する場合は、小学校部会と同じものを提出してもよい。(両部会それぞれに提出すること)</li> </ul> <p>【協議の進め方】 グループ内で、各自の進捗状況を報告し合う。その後、自身の取組について「評価・改善」を行い、来年度の指導に向けた見通しをもつ。グループ内での協議後、全体で共有する。</p>		
協議②			
協議題	問題解決的な学習における「評価・改善」の在り方		
趣旨	家庭分野における資質・能力を育成するためには、一連の学習過程に沿った問題解決的な学習を通して課題を解決する力を養うことが大切である。今回は、一連の学習過程の一つである「評価・改善」に焦点をあて、より効果的な「評価・改善」の在り方について協議する。		
提出資料	○問題解決的な学習における「評価・改善」の好事例又はそれに代わるもの ・「なぜ、子供にとって必要感のある『評価・改善』の場面となったと考えるのか」を分析・考察すること。		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A4判2ページ以内にまとめる。(項立ての指定はなし)</li> <li>・事例については、中学校での実践とし、題材の指導計画(概要でよい)を必ず盛り込む。</li> <li>・事例に基づき、授業記録、題材の構想、教師の手立て、子供の姿等から分析・考察をまとめる。</li> <li>・学習指導案、実際の画像、授業記録等を盛り込む場合は、様式とは別に提出してもよい。(形式、ページ数は不問)</li> <li>・附属学校等の教員は自身の実践についてまとめる。</li> <li>・好事例がなかった場合は、指導主事が考える「理想の授業」を基にまとめる。</li> </ul> <p>【協議の進め方】 グループ内で、事例とその考察を発表し合い、「子供にとって必要感のある『評価・改善』が生まれる授業づくりのポイント」をまとめる。グループ内での協議後、全体で共有する。</p>		
その他部会当日に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_009.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_009.pdf</a>
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【中学校 技術・家庭】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g-giivut.pdf">https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_g-giivut.pdf</a>

令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校 外国語部会

協議①②	
協議①	「言語活動を通した」指導を各単元で行うことについて① ～思考、判断して情報を整理し自分の考えなどを形成し再構築できるための指導に着眼して～
協議②	「言語活動を通した」指導を各単元で行うことについて② ～適切な言語材料を活用するための指導(理解したり練習したりする活動を含む)に着眼して～
趣旨	<p>中学校学習指導要領(平成29年告示)解説には、「『外国語で表現し伝え合う』ためには、適切な言語材料を活用し、思考・判断して情報を整理するとともに、自分の考えなどを形成、再構築することが重要である」と記されている。</p> <p>つまり、「言語活動を通した指導」を各単元で行うということは、</p> <p>(1)思考、判断して情報を整理し自分の考えなどを形成し再構築できるための指導 (2)適切な言語材料を活用するための指導(理解したり練習したりする活動を含む)</p> <p>といった2つの側面からの指導を、単元を通して行うということである。これらの指導は、単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現につながるものである必要がある。(中学校学習指導要領総則及び、外国語「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」参照)</p> <p>そこで、協議①では、(1)に、協議②では、(2)に着眼し、「言語活動を通した指導」を各単元で行う上での大切なポイントを確認しつつ、よりよい指導について、実践事例をもとに具体的に協議する。</p>
提出資料	<p>発信能力のうち、各自治体(附属学校等)が課題と捉えている領域について、「言語活動を通した指導」を各単元で行うことによって、本単元で目指す資質・能力の育成につながった実践事例</p> <p>①単元構想(単元目標を具現した生徒の英語表現を含む) ②本単元で目指す資質・能力の育成に向けて行った「思考、判断して情報を整理し自分の考えなどを形成し再構築できるための指導」の説明(写真を載せても可)と、 本単元で育成を目指す資質・能力との関連についての説明 ③本単元で目指す資質・能力の育成に向けて行った「適切な言語材料を活用するための指導(理解したり練習したりする活動を含む)」の説明(写真を載せても可)と、 本単元で育成を目指す資質・能力との関連についての説明 ※②③ともに、ICTの活用やALTの参画場面に関することについては含めること</p>
作成様式	別紙様式14
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>(②③についての補足)</p> <p>実践事例をもとに協議する際に、より具体的に説明ができるよう、写真を掲載することも可とする。その場合は、写真に写っている生徒や教師等の許諾を得ること。また教科書等が写っている場合は、著作権の許諾を得ること。許諾が得られない場合は、写真を加工等して提出すること。(提出いただいた資料を、当日参加する指導主事等に事前配布するため。また、後日、オンデマンド配信をするため。)</p> <p>【協議の進め方】 ・当日は、グループ内で、実践事例を基に協議する。グループ協議後、全体で共有する。</p>

情報交流	
提出資料	<p>①AI(生成AI、AIアプリ等)を活用している実践事例について ア)生徒がAI(生成AI、AIアプリ等)を活用している実践事例について ※AI(生成AI、AIアプリ等)を活用した学習指導案があれば、添付すること(任意) イ)授業全般、授業準備、テスト作成などにおいて、教師がAI(生成AI、AIアプリ等)を活用している実践事例について</p> <p>②中学校外国語教育の充実に向けて実施している研修等について (附属学校等については回答不要)</p>
作成様式	<p>①別紙様式15 ②Microsoft Formsにて回答 <a href="https://forms.office.com/r/T1RYTtTKTz">https://forms.office.com/r/T1RYTtTKTz</a></p> <p>※Formsにて回答できない場合は、別紙様式16</p> 
提出資料作成に当たっての留意事項	<p>①(ア)イ)を併せて、A4判2ページ以内でまとめること。ア)に係って、AI(生成AI、AIアプリ等)を活用した学習指導案があれば併せて提出すること。その場合、枚数は自由。1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。</p> <p>【情報交流の進め方】 ・当日は、協議①②とは別に、提出資料を基にグループ内で交流をする。</p>

読んで部会解し、当日までにおく資料	資料名	①『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(令和3年1月26日 中央教育審議会答申)(令和3年4月22日更新) ②「学習者用デジタル教科書について」文部科学省 ③「学習者用デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に関するガイドライン」(令和3年3月改訂) ④初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドラインver1.0 ※機動的な改訂を想定(令和5年7月4日 文部科学省初等中等教育局)
	用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
	インターネットでの掲載場所	<p>①<a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm">https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm</a></p> <p>②<a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/seido/1407731.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/seido/1407731.htm</a></p> <p>③<a href="https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/139/houkoku/1412207_00001.htm">https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/139/houkoku/1412207_00001.htm</a></p> <p>④<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyoo02-000030823_003.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230710-mxt_shuukyoo02-000030823_003.pdf</a></p>
	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編
手元その他部会資料として当日におく	用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
	インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_010.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_010.pdf</a>

# 令和6年度小学校及び中学校各教科等教育課程研究協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

## 中学校 道徳部会

協議①			
協議題	道徳教育の諸計画作成についての現状と課題について		
趣旨	「令和3年度道徳教育実施状況調査」においては、「学校の道徳教育の重点や推進すべき方向について教師間での共通理解や連携を図るための機会の確保」「全体計画の評価・改善(全体計画の「別業」を含む)」が課題であるとの結果が出ている。このような結果を踏まえ、各学校における生徒の資質・能力の育成を目指した道徳教育の全体計画(「別業」を含む)や年間指導計画について教育委員会としての指導・助言等の在り方について協議を行う。なお、附属学校等は、学校としての取組について協議を行う。		
提出資料	<p>○貴管内における実態(実施状況調査等の全国調査と各都道府県における調査等の比較)を踏まえ、以下の2点について、A4判1ページ程度でまとめること。</p> <p>(1)全体計画の別業、年間指導計画の作成に基づく、意図的、計画的な道徳教育の充実</p> <p>(2)年間指導計画の工夫における道徳科の指導の充実</p> <p>○参考資料等があれば、上記「提出資料」と併せて、A4判2ページ程度で提出すること。その際、1ページ目の余白(原則として資料上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を記入すること。(様式は任意)</p>		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たったの留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)(2)の作成にあたっては、指導・助言を行った内容についても記載すること。</li> <li>・附属学校等は、学校としての取組と課題について作成すること。</li> <li>※提出資料を基にグループ編成を行い、情報交換・協議を実施する。</li> </ul> <p><b>【その他基本的な留意事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真を使用する場合には、顔や名札等の個人を識別することができる情報を隠す等の加工を行うことにより、児童生徒等のプライバシーに十分配慮すること。その際、端末の画面などへの映り込みにも留意すること。</li> <li>・学校名や個人名などを明らかにする場合には、事前に許可を得ること。</li> <li>・別紙を参考に、用語の統一を図ること。</li> <li>・資料は厳選したもののみを提出すること。</li> </ul> <p><b>【協議の進め方】</b></p> <p>研究協議(65分)・発表(15分)・講評(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育の諸計画作成についての現状と課題</li> <li>※主として提出資料をもとにした研究協議</li> </ul>		
協議②			
協議題	教師の指導力を高めるための指導・助言等の在り方及び研修を推進・充実させるための方策について		
趣旨	「令和3年度道徳教育実施状況調査」においては、「道徳教育の更なる充実に向けて課題となっていること」として、6割以上の教育委員会が「教師の指導力」を挙げており、道徳教育の要としての道徳科の授業改善、指導力の維持・向上、そのための研修機会等の充実は、喫緊の課題である。そこで、今回は、道徳教育アーカイブの実践事例で紹介している授業動画を活用して教師の指導力を高めるための指導・助言等の在り方について協議した上で、教育委員会として、道徳教育の研修を推進・充実させるための方策について協議を行う。なお、附属学校等は、授業力の向上と校内研修のさらなる充実について協議を行う。		
提出資料	<p>なし</p> <p>以下の道徳教育アーカイブの実践事例動画を事前視聴すること。</p> <p>内容項目 家族愛、家庭生活の充実 教材名 一冊のノート(「私たちの道徳 中学校」文部科学省)</p>		
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_011.pdf">https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_011.pdf</a>
	②	資料名	道徳教育アーカイブ授業動画の事前視聴
		用意しておく箇所	協議②で指定した実践事例について(授業映像)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://doutoku.mext.go.jp/">https://doutoku.mext.go.jp/</a>

令和6年度小学校及び中学校(高等学校)各教科等教育課程研究協議会  
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

中学校・高等学校 特別活動部会

協議①			
協議題	「キャリア・パスポート」の接続と活用について		
趣旨	学習指導要領では、小学校、中学校、高等学校のいずれにも、総則において、生徒(児童)が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう特別活動を要としてキャリア教育の充実を図ることが示され、要である特別活動の学級(ホームルーム)活動に「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」を設け、各学校段階を通してキャリア教育に系統的、発展的に取り組むことが求められている。そして、系統的、発展的にキャリア教育に取り組んでいくには、生徒が活動を記録し蓄積する「キャリアパスポート」を活用することが重要である。中学校及び高等学校学習指導要領解説特別活動編では、「こうした教材については、小学校から高等学校まで、その後の進路も含め、学校段階を越えて活用できるようなものとなるよう、各地域の実情や各学校や学級(ホームルーム)における創意工夫を生かした形での活用が期待される。国や都道府県教育委員会等が提供する各種資料等を活用しつつ、各地域・各学校における実態に応じ、学校間で連携しながら、柔軟な工夫を行うことが期待される。」とある。そこで、校種間、特に中学校から高等学校への「キャリア・パスポート」の接続と活用について、教育委員会としての取組や指導主事としての学校支援の在り方(附属学校等については学校としての取組)について協議する。		
提出資料	次の①～③の内容ごとに、教育委員会として現在行っている取組(附属学校等においては学校としての取組)をまとめること(①～③合わせてA4判2ページ以内とする)。 ①域内学校に示している「キャリア・パスポート」の必要性と教育的効果 ②「キャリア・パスポート」の学年間の接続(引継ぎ)とその後の特別活動(学級(ホームルーム)活動)の指導での活用に向けた取組 ③「キャリア・パスポート」の校種間(中学、高等学校)の接続(引継ぎ)とその後の特別活動(学級(ホームルーム)活動)の指導での活用に向けた取組		
作成様式	別紙様式2 ※共通様式		
提出資料作成に当たった際の留意事項	資料提出に当たって、1枚目の余白(資料右上)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び、都道府県・指定都市番号を、ページ下部中央にページ番号を記入する。 ※中学校担当者・高等学校担当者は、それぞれ資料を作成すること。なお、特別活動担当として中学、高校を兼務している場合は、中学、高校それぞれの視点を踏まえて1つの資料を作成すること。 ※②、③は学校間、校種間で接続(引継ぎ)したキャリアパスポートを、「特別活動」の「学級(ホームルーム)活動」でどのように活用していくよう取り組むこととしているのかを記載すること。(キャリア教育については、特別活動のみならず、各教科等における学習や個別指導としての教育相談等を含め、学校教育全体を通じて充実を図っていくべきものであるが、本提出資料の作成にあたっては、他教科等との関連について触れる場合であっても、特別活動の要としての役割に重点をおいて記載すること。) ※各都道府県・指定都市において作成し、域内の市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、別添資料として添付すること。(附属学校等については、自校の「キャリア・パスポート」に関する資料) ※ICTやクラウドを活用した取組があれば積極的に記載をすること。  当日は、提出資料を用いて以下のようにグループ協議を進める。 【協議の進め方】 (1)①についてグループ内で共有、協議し、グループとしてキャリアパスポートの必要性と教育的効果の考えをまとめ、その普及のための教育委員会としての取組を協議。その後、グループごとに発表し、全体で情報共有を行う。 (2)②についてグループ内で共有し、学年間の接続とその後の特別活動の指導での活用における課題を見だし、課題解決に向けた教育委員会としての取組、指導主事としての指導・助言のあり方等について協議。その後、グループごとに発表し、全体で情報共有を行う。 (3)③についてグループ内で共有し、校種間の接続とその後の特別活動の指導での活用における課題を見だし、課題解決に向けた教育委員会としての取組、指導主事としての指導・助言のあり方等について協議。その後、グループごとに発表し、全体で情報共有を行う。		
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20230208-mxt_kyoiku02-100002608_013.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20230208-mxt_kyoiku02-100002608_013.pdf</a> <a href="https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf</a>
	②	資料名	キャリア教育リーフ「キャリア・パスポート」特別編(国立教育政策研究所)
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div09-shido.html">https://www.nier.go.jp/04_kenkyu_annai/div09-shido.html</a>
	③	資料名	特別活動の指導におけるICTの活用について
		用意しておく箇所	事前の動画視聴
		インターネットでの掲載場所	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=RCGVsUCGCrc">https://www.youtube.com/watch?v=RCGVsUCGCrc</a>